

# 李ラインと日本船拿捕

森 須 和 男

はじめに

1. 本研究に関わる先行研究
2. 本研究課題における「問題点」

おわりに

付表

## はじめに

「国務会議の議決を経て、隣接海洋の主権に関し次のごとく宣言する」<sup>1</sup> という文言で始まる『大韓民国隣接海洋の主権に関する大統領の宣言』（以下、李ライン）は、1952年1月18日に大韓民国（以下、韓国）より発出され、1965年12月18日の日韓基本条約及び諸協定の発効（以下、日韓条約発効）とともに廃棄された。この間、韓国は李ラインの実効性を根拠に、「境界線」<sup>2</sup> を侵犯した船舶を拿捕するなどの措置を講じた。この李ラインにより影響を受けた船舶の多くが日本船であった。

日本では、韓国による日本船の拿捕に関する資料としては、『日韓漁業対策運動史』<sup>3</sup> が基本資料として使用されている。しかし、当該書籍の記載内容と日本船拿捕を報じた全国紙及び地方紙の内容とを対比してみると、事実関係に少し違いがあり、曖昧さがあること

---

1 神谷不二編集代表『朝鮮問題戦後資料 第一巻』日本国際問題研究所、1976年、494-495 ページ。

2 「大韓民国の主権と保護下にある水域」とされた「境界線」は、「韓半島およびその附属島嶼の海岸」と次の諸線を結んだ海洋である。(イ) 咸鏡北道慶興郡牛岩嶺高頂から北緯四二度一分東経一三〇度四五分の点に至る線、(ロ) 北緯四二度一分東経一三〇度四五分の点から北緯三八度東経一三二度五〇分の点に至る線、(ハ) 北緯三八度東経一三二度五〇分の点から北緯三五度東経一三〇度の点に至る線、(ニ) 北緯三五度東経一三〇度の点から北緯三四度四〇分東経一二九度一〇分の点に至る線、(ホ) 北緯三四度四〇分東経一二九度一〇分の点から北緯三二度東経一二七度の点に至る線、(ヘ) 北緯三二度東経一二七度の点から北緯三二度東経一二四度の点に至る線、(ト) 北緯三二度東経一二四度の点から北緯三九度四五分東経一二四度の点に至る線、(チ) 北緯三九度四五分東経一二四度の点から（平安北道慶川郡蕪島列島）馬鞍島西端に至る線、(リ) 馬鞍島西端から韓満国境の西端と交差する直線。同上。

3 『日韓漁業対策運動史』日韓漁業協議会、1968年。

が分かってきた。そこで筆者は、『李承晩ライン宣言(1952年1月18日)から日韓条約発効(1965年12月18日)までに拿捕された島根県の漁船』<sup>4</sup>を2009年に発表したのち、調査範囲・調査対象を広げてより精緻に調べることにした。具体的には、海上保安部、海上保安庁、外務省、水産庁、国会議事録資料、韓国外交関係資料、漁連、漁協、水産業界新聞、地方紙、郷土史(誌)、水産業界社史、雑誌、聞き取り調査などにより調査研究を行った<sup>5</sup>。その結果、十分とは言い難いが、『日韓関係において拿捕等された日本船(漁船・公船)一覧表 自昭和20年(1945年)～至昭和41年(1966年)』(以下、一覧)を作成することが可能となった。

一覧は項目として、発生時間(西暦、年号、月、日、時、分)、船名(「日韓漁業対策運動史」記載船は太ゴシック)、トン数・船質、乗組員数、漁業基地、船主(所有者)・会社名、以東・以西拿捕地点(E・N)、農林漁区、漁労長名、船長名、船種・魚種、銃撃・死傷者、捕獲した船、連行先、裁判所・その後の処置・判決理由・釈放・乗組員・船・漁具・漁獲魚の売上代金、帰還・盗難(ROBBERY)その他、「拿捕違反漁船調」記載船、「日韓漁業対策運動史」記載船(n印)を挙げた。調査期間は、李ライン以前の終戦後(1945年)から日韓条約発効直後(1966年)までとし、一覧では太野を施して、李ライン前後と比較できるようにしている。また、外務省、水産庁、海上保安庁、海上保安本部、日韓・韓日会談文書、日韓漁業協会、日本遠洋底曳網漁業協会、みなど新聞社などによる「拿捕統計表」<sup>6</sup>を集め付表として添付した。なお、韓国による公開資料には、「韓国漁業資源保護水域図」<sup>7</sup>、「日本漁船拿捕位置表示表」<sup>8</sup>などがある。

## 1. 本研究に関わる先行研究

本研究は日韓漁業紛争を対象にした研究群に連なるものと考えているが、これに関連する先行研究としては以下のようなものが挙げられる。日韓漁業紛争を日本の漁業従事者か

---

4 森須和男「市民から見た鬱陵島と竹島／独島」(第18回日韓・日朝交流史研究会：2009年7月3日での口頭発表)。その後、2011年5月29日改訂。

5 調査研究は主に、浜田市立図書館、島根県立図書館、山口県立図書館、福岡市立図書館、米子市立図書館、島根県立大学メディアセンター、島根県立大学 NEAR センター図書室などでの資料閲覧・収集、インターネットでの資料閲覧、関係書籍の購入、浜田海上保安部、漁業関係者(オーナー及び拿捕経験者)などへの聞き取りである。

6 巻末の付表を参照。

7 「韓国漁業資源保護水域図」『第5次韓日会談予備会談(1960.10.25-61.5.15) 漁業及び平和線委員会会議録及び非公式会談報告、1960-61』(登録番号：715、分類番号：723.1JA ㄱ1960-61、ファイル番号：10、フレーム番号：145)『韓・日会談請求権関連文書16』大韓文化印刷、2006年、354ページ。

8 「日本漁船拿捕位置表示表」『韓国の漁業保護政策：平和線宣布、1949-52』(登録番号：458、分類番号：743.4 1949-52、フィルム番号：C1-0003、フレーム番号：1176)『韓・日会談請求権関連文書94』大韓文化印刷、2006年、68-69ページ。

ら捉えた、日韓漁業協議會「日韓漁業対策関係年表」<sup>9</sup>、領土問題を国境に接する人々の生活から見た、福原裕二「漁業問題と領土問題の交錯」<sup>10</sup>。また、領土問題を国及び県から見た、藤井賢二「日韓会談の開始と竹島問題」では、『日韓漁業対策運動史』、『海上保安庁三十年史』<sup>11</sup>等により、「南朝鮮・韓国に拿捕銃撃された日本漁船の漁業種別一覧」を作成し<sup>12</sup>、さらに「山陰の漁業者と韓国一沖合底曳網漁業を中心に」では、「鳥根県及び鳥取県の漁港から出漁して拿捕された漁船一覧」を作成し、『日韓漁業対策運動史』の記述に一部矛盾が存在することも指摘している<sup>13</sup>。

## 2. 本研究課題における「問題点」

### (1) 「拿捕」の定義をめぐって

ここまで「拿捕」という言辭を検討しないままに用いてきたが、例えば「日本船拿捕」という場合の「拿捕」とはどのような状態を指すのだろうか。その上で、「拿捕」をどのように定義すればよいのだろうか。このことを考える手がかりとして、次のようなりサーチ・クエスチョンを挙げることができるだろう。

第一に、拿捕の態様としては、捕獲、臨検、連行、取り調べ、裁決などの一連の行為が考えられるが、拿捕とはそれらのどの時点を指すのだろうか。あるいはそれらを含めた概念と考えてよいのだろうか。密輸、盗難、拉致、海難事故（座礁、追突、行方不明、沈没、漂流、故障）の場合はどうなのだろうか。第二に、拿捕数に公船を含めてよいのか否か。第三に、研究者、諸組織・機関により拿捕数・抑留者数等で相違が見られることをどのように考えればよいのだろうか。第四に、拿捕理由は、韓国が主張する領海侵犯によるものか、漁業資源保護によるものか、あるいはそのいずれにもよるものなのか。はたまたその他によるものか。韓国において関連の裁判記録が公開されておらず、拿捕理由は一部の報道から推測されるのみである。

しかし、本研究はあくまで基礎データとしての一覧を提供することが目的であり、拿捕の定義をめぐるとの諸問題については指摘に止め、今後の研究課題としたい。

### (2) 資料の不正確な要因をめぐって

先に、韓国による日本船の拿捕に関する代表的な資料と、新聞などの他資料との間の事

9 前掲、『日韓漁業対策運動史』439-464 ページ。

10 福原裕二「漁業問題と領土問題の交錯」『北東アジア研究』第23号、2012年3月、65-77 ページ。

11 海上保安庁総務部政務課編『海上保安庁三十年史』海上保安協会、1979年。

12 藤井賢二「日韓会談の開始と竹島問題」第2期竹島問題研究会編『第2期「竹島問題に関する調査研究」中間報告書』鳥根県総務部総務課、2011年2月、71-83 ページ。

13 藤井賢二「山陰の漁業者と韓国一沖合底曳網漁業を中心に」第3期竹島問題研究会編『第3期「竹島問題に関する調査研究」最終報告書』鳥根県総務部総務課、2015年8月、9-35 ページ。

実関係の記述の相違について指摘した。このような資料の一部に見られる記述の不正確さは何に起因するのであろうか。想像をもまじえて指摘するならば、第一には、船名や人名について韓国発表の音訳を漢字変換する際に当事者への確認を怠り誤表記したことが考えられる。第二には、単純に乗組員数（拿捕前に海へ飛び込み免れた船員）や船舶のトン数その他の数値を間違えた（誤植を含む）ということが考えられる。第三に、日韓双方で拿捕地点の主張が相違しているということも考えられる。第四に、小型漁船の場合、直乗船が多く、海難事故に遭ったのか、拿捕されてしまったのか、連絡も容易には取れずに判断がし難く、のちの韓国の発表により確認されることがしばしばであるということが考えられる。

加えて、事実関係を伝える側の次のような困難さも考慮に入れるべきであろう。「李ライン特別警戒 波乱の10年」によれば、第七管区海上本部（門司）は李ライン報道のメッカ（毎日、朝日、読売、NHK、民放各社を含む15社）であり、李ラインの捕獲事件はすべて全国ニュースのネタとなり、報道の火花を散らしていた。「特別警戒の巡視船情報は同本部三階にあるオペレーションを通じて二課に集約される。最近の捕獲事件はほとんど深夜が多い。電文の翻訳などでどうやら事件の概要がまとまるのはいつも午前二時、三時。新聞社にとっては朝刊最終版ぎりぎり、一線の記者にとって魔の時間である」。「現場不在の取材が李ライン記者の一番大きなやみだ。『〇〇丸つかまる』一。事件の第一報をキャッチしても読者には正確な船名が大切。カナの電文で船籍名簿をめくる。どうやら〇〇丸らしい。すかさずデスクへ連絡して現地の支局、通信社、通信部へ手配がとぶ。ところがたまには未確認情報もあり、とんでもない船の調査を依頼することもある」<sup>14</sup>。このように、第一線の記者にとっても正確な情報を得ることは難しかった。

したがって、関連資料を突き合わせ、より精緻な一覧を作成することは可能であっても、一覧の「完成」には及ばないかもしれない。だが、基礎データから派生していく研究の進展のためにも、一覧の完成を目指す営為はやめるべきでない。そのような問題意識から一覧を公表することにした。

## おわりに

朝鮮半島及びその周辺で、李ライン前後を含めた日本船の拿捕等の解明の一助となればと思ひ調査してきた。そのささやかな成果が本研究である。既存研究を俯瞰するとき、拿捕そのものに特化して研究されたものが皆無であるため、公開資料を基に一覧表の作成を試みた。

今後も資料発掘を粘り強く行い、資料・文献批判を深める重要性を感じる。実態解明のため、さらに多くの関係資料が公開されることを切に願っている。

---

14 「李ライン特別警戒 波乱の10年」『毎日新聞』1962年7月29日付。

表 1 日韓関係において拿捕等された日本船（漁船・公船）一覧表 自昭和20年（1945年）～至昭和41年（1966年）

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	噸数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者) 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種
1945年 (昭和20年)	1	7月29日	No.21しんせい丸	70.40t			大洋漁業KK					
	2	8月26日	第53隼丸	8.01t		山口県 (下関市)	大洋漁業KK					
	3	8月27日	第8小金丸	19.67t (19.76t)		下関市	那須商店					鱈巾着網
	4	9月10日	第36金比羅丸	18.45t		下関市	那須商店					鮮魚運搬
	5	9月12日	第66隼丸	12.44t		下関市	大洋漁業KK					鮮魚運搬
	6	9月15日	第2晴雲丸	41.40t		下関市	東亜海洋漁業KK	以西				以西底曳
	7	11月10日	第79隼丸	15.16t		下関市	大洋漁業KK					鮮魚運搬
	8	11月26日	第86隼丸	13.43t		下関市	大洋漁業KK					鮮魚運搬
1946年 (昭和21年)	9	3月1日 3時	第5清興丸	27.29t		浜田市	川本与一	以東				底曳
	10	4月11日	第2福井丸	38.42t		香住町	京都食品工業KK	以東				底曳 小型
1947年 (昭和22年)	11	4月10日	白河丸	65.88t	4人	下関市	高松栄作					
	12	2月4日	幸漁丸	55.41t (55.40t)/木	7人 (10人)	下関市	高松金二 (次)郎	以西N34°18'E129°00' (済州島付近)			石丸嘉一	底曳一艘曳
	13	4月15日	第61明石丸				(大洋漁業)	以西				底曳
	14	4月15日	第62明石丸				(大洋漁業)	以西				底曳
	15	4月15日	第2朝日丸	55.98t	10人	福岡基地	玉野漁業	以西				底曳
	16	4月15日	第3玉栄丸	45.07t	10人	福岡基地	玉野漁業	以西				底曳
	17	4月16日	第1玉浦丸				(振洋漁業)	以西				底曳
	18	4月16日	第2東亜丸					以西				底曳
19	4月21日	長栄丸									延縄	
20	7月3日	NO.1(NO.2) 協漁丸	73.11t/木		下関市	那須金市	以西					底曳
21	7月29日 (21日)	第21新生丸	17.40t		下関市	大洋漁業KK						鮮魚運搬
22	11月18日	第2海幸丸					以東					
1948年 (昭和23年)	23	1月8日	素水丸	88.62t/鋼	15人	戸畑 (東京)	日本水産KK	以西 N32°30' E125°20'			玉田三弥吉	底曳
	24	1月8日	利国丸 Ri koku	88.56t/鋼	14人	戸畑出港	日本水産KK	以西 N32°30' E125°20'			浜里功	底曳
	25	1月17日	第27大洋丸	279.50t (279.59t) 275t/鋼	22人	下関市	大洋漁業KK	N33°40' E124°59' (E124°55')			内野松次	トロール

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1948年 (昭和23年)	26	2月25日 4時40分	第7共和丸	48.63t/木	10人	戸畑市	共和水産KK	以西N32°37' E126°15'	275区	金子満	和田福太郎	底曳	
	27	2月26日 15時30分	第1興隆丸	99.83t (99.54t)/鋼	13人	下関市 (別府市)	浜田録男	以西N30°00' (30°31'・32°30'・32°00') E126°00'(127°00'・126°30'・)	275区		木本雄松	底曳	
	28	2月26日	第2興隆丸	99.83t (99.54t)/鋼	14人	下関市 (別府市)	浜田録男	以西N30°00'(30°31'・32°00') E126°00'(127°00'・125°39'30')			神田キンシロウ	底曳	
	29	2月26日 (7日)	第14大東丸	64.17t/木	11人	福岡市 玉之浦出港	森口漁業KK 森口幸夫	以西 不明			北山朝次	底曳	
	30	2月26日	第15大東丸	64.17t	11人	福岡市	森口幸夫	以西 不明			町田喜代雄	底曳	
	31	3月4日 朝	第1天洋丸	75.80t (75.00t)/鋼	13人	福岡市北 菜町西席浦	天洋水産KK	以西 N32°58'E125°45'	295区		岡本敦雄	底曳	
	32	3月4日 朝	第2天洋丸	75.80t (75.60t)/鋼	13人	福岡市北 菜町西席浦	天洋水産KK	以西 N32°58'E125°45'	285区				底曳
	33	3月12日	第10日進丸	80.59t	12人	下関市	日魯漁業KK	以西			福田甚太郎	底曳	
	34	3月12日	第11日進丸	80.59t/鋼	12人	東京都	日魯漁業KK	以西 济州西南盛礁			枙(竹)本安重	底曳	
	35	5月14日 2時30分	久美丸	80.44t/鋼	15人	戸畑市	日本水産KK	以西 N32°36' E126°19'			浜里半次	底曳	
	36	5月14日	第21明玄丸 meigen	92.30t/鋼	14人	下関市	市河元次	以西 济州島南方					底曳
	37	5月14日 2時30分	瑞穂丸	80.13t/鋼	13人	戸畑市	日本水産KK	以西 N32°36' E126°19' (126°19'(126°14'))			中村貞蔵		
	38	10月1日	白河丸	65.88t		高松市					木下タツオ		
	39	10月22日 5時30分頃	第1平和丸	54.09t (54.19t)/木	11人	福岡市	平和水産KK	以西 牛島灯台南方15~16マイル	264区		丸川九八	底曳	
40	10月22日 5時30分頃	第2平和丸	54.09t/木	11人	福岡市	平和水産KK	以西 牛島灯台南方15~16マイル	264区		山本龍一	底曳		
41	12月10日	第1海征丸	16.94t		福井県高浜	大田岩吉						巾着	
42	12月26日 午前5時	第1地洋丸	75.80t/鋼	13人	下関市	長門漁業KK	以西 济州島北西飛揚島 座礁				松本勤之助	底曳	
43	1月11日	第8徳広丸	78.80t (75.80t)/木	14人	福岡市	徳島水産	以西 N32°55' E126°49'				鈴木カズキチ	底曳	
44	1月11日	第10徳広丸	78.80t (75.80t)/木	12人	福岡市	徳島水産	以西 N32°55' E126°49'					底曳	
45	1月23日 5時30分	第12萬栄丸	64.97t (64.77t)/木 (64.99t)	10人 (1人死亡)	福岡市	福岡水産	以西 N32°35' E126°35' 济州島へ	265区			永江松次	底曳	
46	2月1日	第6ゆたか丸	60.18t	10人	山口県	大海開洋 漁業団	以西 N32°42'E126°42' 巨文島へ			竹内栄三郎	竹内元	底曳	

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1949年 (昭和24年)	47	2月1日	第8ゆたか丸	59.40t	10人	山口県	大海開洋 漁業団	以西N32°42' E126°42'				底曳	
	48	3月29日 16時40分	第51徳広丸	69.04t/木	13人	福岡市	徳島水産KK	以西マッカーサーライン内			尾崎幸雄	底曳	
	49	3月29日 16時40分	第52徳広丸	69.04t/木	12人	福岡市	徳島水産KK	以西マッカーサーライン内				底曳	
	50	5月4(5)日 24時	大繁丸	32.78t	9人 (1人死亡)	鳥取県 岩美郡 岩美町 田後港	水野信子	以東N36°52' 2"(36°05') E129°40' 4"(130°25') 見島沖北方			水野松治		沖合底曳・ 赤カレイ・魚
	51	5月30日	博丸(三代吉)	51.64t/木	10人	下関市	高松三平	以西 济州島表善里座礁			高松市五郎		底曳
	52	6(1)月27日	吉祥丸	9.81t(10t)	5人 (内2人韓人)	広島	山下伝一郎				岩原清		鮮魚運搬
	53	9月7日 18時頃	萬吉丸	16.65t (16.68t)	9人		徳村善平	対馬仁田村沖約2哩 E129°09'N34°41'			徳村喜代松		一本釣 (突棒?)
	54	9月17日 16時30分頃	第83愛幸丸	99.44t/鋼	13人	福岡市 (松江市)	島根水産KK	以西N34°01'05"(34°02') E128°23'05"(128°28'128°23')			田井由夫		機船底曳
	55	9月21日 午前3時	第2伏見丸	36.98t(37t)	9人	京都府 久美浜	袖長光治	以東			小林美津男		機船底曳
	56	9月26日 11時	(第5)千鳥丸	19.60t	8人 (内5人移乗)	長崎県	山下半太郎	N34°18' E129°マックアサー ライン内小網と伊本崎中間4哩			山下与八		延縄
57	9月29日	龍宮丸	15.19t	6人	秋市浜崎	森田貞一	N36°E129°20' 北東15マイル					延縄	
58	10月14日	第8長久丸	32.45t (20.87)	14人	鹿児島県 山川町	福永実	N33°50' (32°50'・32°54') E127°30' (127°43')			前園重志		延縄	
59	10月14日 6時	(第3)萬歳丸	12.42t	13人	鹿児島	西坂吉之助	N33°30' E128°10'			長友一重		鯖釣	
60	11月1日 22時	第11金比羅丸	40t/木		秋市	山村次郎	以西						
61	※昭和24年 12月	NO.3 sakae丸	11.32t				小倉対馬間						
1950年 (昭和25年)	62	1月9日	第11徳廣丸	67.05t (67.05t)/木 鉄	10人	福岡市	徳島水産KK	以西N32 35'E126°02'	275区		谷井麻雄		
	63	1月9日	第12徳廣丸	66.14t/木鉄 (67.05t)	10人	福岡市	徳島水産KK	以西N32°35' E120°02'	275区		小川政雄		
	64	1月11日 23時10分	第17喜久丸	46.49t/木	11人	長崎市 (福岡市)	丸徳海洋漁業	以西N32°30' E126°26' (126°35')			福島宮松		底曳 トロール
	65	1月12日 午前0時	第3大洋丸	533t/鋼	30人	下関市 (東京)	大洋漁業KK	大洋漁業KK			新井マサフミ		トロール

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1950年 (昭和25年)	66	1月12日 午前1時	第39大漁丸	56t (55.66t)/鋼	10人 (内5名第38 大漁丸に移乗 させられる)	長崎市	大洋漁業KK	大洋漁業KK			松本喜代治	底曳	
	67	1月21日 4時	第22明玄丸	92.30t	13人	下関市	市河元次	以西N32°30' E126°10'			斎藤松春	底曳	
	68	1月25日 16時30分	第11芙蓉丸	98.50t (98.54t)/鋼	14人	下関市 (東京) 下関出港	芙蓉水産KK	以西N32°20' E125°50'			福田甚太郎	底曳	
	69	1月25日 16時30分	第12芙蓉丸	98.54t (98.50t)/鋼	13人	下関市	芙蓉水産KK	以西N32°20' E125°50'			中野富士市	底曳	
	70	1月26日 6時17分	第16大洋丸	284.49t (284.45t)/鋼	20人	下関市 (東京)	大洋漁業KK	N32°30' E125°30'			砂川恵考	トロール	
	71	1月14日	第2住吉丸	28.76t	8人	鳥根県 (鳥取県)	鳥山常五郎	以東			川上貞一	底曳 一艘曳	
	72	2月2日	matushima丸? 松久丸	15.00t	3人	山口県							
	73	2月7日 10時30分	美保丸	30.49t	9人	鳥取県 西伯郡 上道村	門永英三	以東N34°45'05" E126°36'3 (E129°36'3")			岡田重信	底曳	
	74	2月18日 7時33分	第1田島丸	98.56t	14人	広島県	田島水産KK	以西N32°30' E125°40'				底曳	
	75	3月6日	第6大岩丸	27.33t		鳥根県 恵曇	谷掛勝善	以東				底曳	
	76	3月12日 (昭和24年 12月28日?)	第3光丸	11.32t	4人	長崎県 対馬小網	大前良夫	行方不明 assumed				鮮魚運搬	
	77	9月12日	第66隼丸	12.44t		下関市	大洋漁業KK						
	78	9月15日	NO.2 sejun丸	41.40t		下関市	東亜海洋漁業						
	79	12月7日	鶴松丸(nで は美島丸)	36.89t	9人	兵庫県 香住町 一日市	島崎数雄	以東沖合N35°30' E131°30' N36°30' E129°50' 長半岬南東 50里(マッカーサーライン内)			藤原徳兵衛	機船底曳	
	80	12月7日	天龍丸(nで は隼丸)	34.30t	9人	兵庫県 美方郡 西兵村詰寄	田中忠治	以東沖合N35°30' E131°30' N36°30' E129°50' 長半岬南東 50里(マッカーサーライン内)			田中次(治)郎	機船底曳	
	81	12月10日	第2強運丸		9人	鳥取県		以東N38°35' E128°31'					底曳
	1951年 (昭和26年)	82	1月7日	第10徳広丸	75.80t/鋼 (木)	12人 (11人)	福岡市 北濠町	徳島水産	以西N33°12'(32°30')E126°14' (125°50') マライン近海で故障	274区			手繰(底曳)



西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1951年 (昭和26年)	83	1月7日	第8徳広丸	75t(75.80t)/ 鋼	13人	(福岡市 北巻町)	徳島水産	以西N33°12' E126°14'			竹内喜一	底曳	
	84	1月18日	kaei丸 香栄丸	26.77t			里村栄次郎	温泉津北30マイル					
	85	2月5日 (4日)	早鳥丸	39.93t	9人	兵庫県 香住町	米田熊太郎	以西N37°28' E129°27' 温泉津 北35マイル(鳥根県温泉津北 方30哩)			米田義雄	沖合底曳	
	86	2月7日	mishima丸 美鳥丸	36.89t		兵庫県 香住町	嶋崎敏男	対馬仁田村沖約2哩 E129°09'N34°41'					
	87	3月4日	第5大山丸	60t(59.80t) /木	12人	下関市	三輪海洋	以西N37°47' E127°01'	255漁区				底曳
	88	3月11日	第13金比羅丸	65t(65.27t)/ 鋼	11人	福岡市	大野 信(新)太郎	以西N33°34' E126°50' 济州島沖					底曳
	89	3月11日	第15金比羅丸	65.27t/鋼	10人	福岡市	大野 信(新)太郎	以西N33°34' E126°50' 济州島吾郎里					底曳
	90	3月22日	第1宮島丸	99t(99.29t)/ 鋼	13人 (12人)	福岡市	西日本水産 KK	以西N32°49' E126°08'	296漁区 (275)				底曳
	91	3月22日	第2宮島丸	99t(99.29t)/ 鋼	11人 (12人)	福岡市	西日本水産 KK	以西N32°49' E126°08'	296漁区 (275)				底曳
	92	3月23日	保高丸 (保高丸)	75t(75.91t)/ 木	13人	下関市	太平洋漁業	以西N33°40' E126°25'	263漁区				底曳
	93	3月23日	高鳥丸	75t(75.17t)/ 木	11人	下関市	太平洋漁業	以西N33°40' E126°25'	263漁区				底曳
	94	3月27日	第23大洋丸	280t (279.59t/鋼)	20人	下関市	(大洋漁業 KK)	ト口ーJLN34°05' E125°49'	285漁区				ト口ーJル
	95	3月27日	第5住吉丸	67t(67.18t) /木	11人	福岡市	勝瀬漁業KK	以西N34°03' E125°00'	285漁区				底曳
	96	3月29日	第63明石丸	75.80t/鋼		下関市	(大洋漁業 KK)	以西	285漁区				底曳
	97	4月2日	第1太平丸	41.52t/木		下関市		以西					底曳
	98	4月2日	第2太平丸	41.52t/木		下関市		以西					底曳
99	4月5日	第1静波丸	74.95t/木		下関市		以西					底曳	
100	4月5日	第2静波丸	75.05t/木		下関市		以西					底曳	
101	4月5日	第1東洋丸	64.64t/木		下関市		以西					底曳	
102	4月5日	第2東洋丸	64.64t/木		下関市		以西					底曳	
103	4月5日	第1共同丸	75.80t/鋼		下関市		以西					底曳	
104	4月5日	第2共同丸	75.80t/鋼		下関市		以西					底曳	
105	4月5日	橘丸	90.91t/鋼		下関市		以西					底曳	
106	4月5日	桂丸	90.91t/鋼		下関市		以西					底曳	

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1951年 (昭和26年)	107	4月5日	天山丸	97.89t/鋼		戸畑市		以西				底曳	
	108	4月5日	目斗丸	97.89t/鋼		戸畑市		以西				底曳	
	109	4月5日	第1高砂丸	48.39t/木	11人	福岡市	堀漁業KK	以西	285漁区			底曳	
	110	4月5日	第2高砂丸	48.39t/木	10人	福岡市	堀漁業KK	以西	285漁区			底曳	
	111	4月5日	第1迎日丸	99.83t/鋼		下関市		以西				底曳	
	112	4月5日	第2迎日丸	99.83t/鋼		下関市		以西				底曳	
	113	4月5日	第1大興丸	86.81t/鋼		下関市		以西				底曳	
	114	4月5日	第2大興丸	85.71t/鋼		下関市		以西				底曳	
	115	4月5日	第62愛好 (幸)丸	86.81t/鋼		下関市		以西				底曳	
	116	4月5日	第63愛好丸	86.81t/鋼		下関市		以西				底曳	
	117	4月7日	第6旭丸	55.53t/木	10人	福岡市	村山水産KK	以西	285漁区			底曳	
	118	4月7日	第8旭丸	55.53t/木	11人	福岡市	村山水産KK	以西	285漁区			底曳	
	119	※4月9日 (1954年4月 9日か?)	朝日丸			鳥取県		以東					底曳
	120	9月13日	武生丸										延縄
	121	9月13(7)日	第3浜吉丸	58.62t	12人	福岡市	浜口漁業	以西	285漁区				
	122	9月13(7)日	第5浜吉丸	58.62t	10人	福岡市	浜口漁業	以西	285漁区				
	123	9月13(7)日	第6浜吉丸	55.83t	11人	福岡市	浜口漁業	以西	265漁区				
	124	9月13(7)日	第8浜吉丸	54.62t	11人	福岡市	浜口漁業	以西	265漁区				
125	10月10日	第5漁成丸					以東						
126	10月10日	第6漁成丸					以東						
127	11月11日	第1大成丸					以西					沖合	
128	11月11日	第2大成丸					以西					沖合	
129	12月12日	第5平漁丸					以西						
1952年 (昭和27年)	130	1月28日	共栄丸	44.50t		香住町	畑中玄太郎				西川六郎		
	131	2月11日	第3石宝丸	75t		下関市	三洋水産 (大洋漁業)	以西 濟州島西南100km	農林第283区		岡山正二	底曳	
	132	3月2日	第126明石丸					以西					
	133	3月27日	樞丸					以西					
	134	8月14日夜	第5七福丸	44t(40t) 40.51t/木	4人 (10人)	山口県 萩港	萩市底曳 漁船団	N33°11'E127°36' 濟州島南東 36哩(濟州島北岸沖 西帰浦東 南方約10km)	244区左下 (254)		近藤新一	沖合底曳 (中底)	
135	9月12日 午後9時30分	第28海鳳丸	99.98t	19人		向井秀雄	濟州島城山浦南方約3.2km沖 ・N33°21'6" 韓國は33°24' 韓國海 内七E127°8' 韓國は126°57' 七)			久保田伴良	旋網・ 米式網巾着		

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1952年 (昭和27年)	136	9月12日 (9月13日 午前0時30分)	第2松寿丸	38.73t/木	32人 (52人?)	長崎県		韓国主張濟州島城山浦南方約 3.2km(2哩)沖N33°26'E126°57' (日本側濟州島牛島沖30哩)					旋網
	137	9月12日?	第5松寿丸	19.61t/木		長崎県	第7管区海上 保安本部	濟州島城山浦南方約3.2km沖	農林漁区 265区				旋網
	138	10月25日	巡視船いき	450t型 (387.22t)									公船
	139	12月13日	第17日進丸	52.57t/木	12人	下関市	日魯漁業	以西 濟州島東方 N33°50'E128°付近公海上					底曳主船
140	12月13日	第18日進丸	51.82t/木	11人	下関市	日魯漁業	以西 濟州島東方N33°50'E128° 付近公海上					底曳従船	
141	12月30日 午前3(2)時頃	日鯨丸	(40t)40.45/ 木	9人	福岡県 戸畑市		石丸太兵衛	以西 対馬とくげ島(鴻 の島)の中間 停泊中 N34°17'30"E128°57'42" (李ライン外)			石丸太兵衛	中底曳	
1953年 (昭和28年)	142	2月4日 午前8時30分	第1大邦丸	(57t)57.07t	11人 (生9死1)	福岡市 北濠町	大邦漁業KK	以西 濟州島近く20マイル 公海上(濟州島西方)	第283・ 284漁区	瀬戸重次郎	(兵野治) 兵行治		手繰 (機船底曳?)
	143	2月4日 午前8時15分	第2大邦丸	(57t)56.89t	11人 (生12)	福岡市	大邦漁業 (大野巳之助)	以西	283漁区		助田重雄		手繰 (機船底曳?)
	144	2月5日 午後2時頃	第1大平丸	62t(63.11/ 木)	12人	佐賀県 伊万里市	太平水産KK	以西釜山と巨濟島の間 濟州島の南方(濟州島東北 N33°45'E127°15'付近 莞島と麗瑞島の間)	(農林253 区)		ヤナダユキオ		底ひき
	145	3月12日 (10日)	松福丸	19.70(19)t/ 木	4人 (6人)	下関市 香川県?					石津?		延縄
	146	3月10日	第2大進丸										
	147	3月20日	第12雲仙丸 など6隻										
	148	9月6日 午後6時30分	第7太(大)栄丸	37.16 (35t-37t)t/木	16人	鹿児島 市山下町	太(大)栄水産					上竹佐吉	延縄
	149	9月7日	第2徳島丸	64.40(64)t/ 木	30人	徳島県	徳島第二中央 漁業生産組合					多田弥蔵	サハ釣
	150	9月7日 午前1時	第1大福丸	42.38(42)t/ 木	27人	福岡市 長倉町	宿輪商店 (宿輪幸己)	濟州島沖				浜崎和男 (一夫)	サハはね釣
	151	9月18日夜	榮勝丸			鹿児島県 種子島・ 阿久根基地		五島北西					
	152	9月18日	第2義隆丸	19.10(19)t/ 木	8人	山口県 萩市越ヶ浜						藤田三市 (一)	延縄
	153	9月22日	第21明玄丸	92.30t/銅		山口県 下関市	市河元次	以西					

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・W)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1953年 (昭和28年)	154	9月22日	第22明玄丸	92.30t/鋼		山口県 下関市	市河元次	以西					
	155	9月22日	第1蛭子丸	16.22(16)t/ 木	7人	萩市 越ヶ浜						延縄	
	156	9月22日	恵比須丸	24.89t/木		山口県						延縄	
	157	9月22日	第2蛭子丸	19.95(20)t/ 木	8人	萩市 越ヶ浜						延縄	
	158	9月22日	第5万栄丸	18.90t/木		(萩市)						延縄	
	159	9月22日	大蔵(蔵)丸	19.46t/木	8人	山口県						延縄	
	160	9月23日	第71明石丸	75.80t/鋼		山口県 下関市	大洋漁業KK	以西					
	161	9月23日	第2東亜丸	53.30t/木		山口県 下関市	振洋漁業KK	以西					
	162	9月23日	第3東亜丸	53.30t/木		山口県 下関市	振洋漁業KK	以西					
	163	9月26日 午前10時	更生丸	52.73t/木		長崎県		济州島東南56km					旋網
	164	9月26日	第2更生丸	19.67t/木		長崎県		济州島東南56km					旋網母船
	165	9月26日	第6更生丸	19.82t/木		長崎県		济州島東南56km					旋網母船
	166	9月26日	第3更生丸	19.8t/木		長崎県		济州島東南56km					旋網灯船
	167	9月26日	第5更生丸	19.8t/木		長崎県		济州島東南56km					旋網灯船
168	9月26日 午前10時	第33蛭子丸	53.10t/木	35人	福岡県	富永水産	济州島東南56km					サハ釣	
169	9月26日 午前10時	第3(2)福徳丸	30.7t/木		静岡県		济州島東南56km					サハ釣	
170	9月27日 午前8時15分	水産庁監視船 第2京丸	300t	23人		日本水産の キャチャー ボートを チャーター	济州島東南54km		吉田監督官			公船	
171	9月27日 午前8時	観音丸	15.6t/木	7人	萩市 越ヶ浜		济州島東南86km					延縄	
172	9月28日 午後	中伝丸	17.65t/木	8人	萩市 越ヶ浜		济州島沖					延縄	
173	9月28日	春日(吉)丸	19.97t/木	8人	萩市 越ヶ浜		济州島沖				仁保?	延縄	
174	9月28日	長栄丸	14.70t/木	8人	萩市 越ヶ浜		济州島沖					延縄	

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・W)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1953年 (昭和28年)	175	9月28日	元福丸	14.36t/木	7人	秋市 越ヶ浜		济州島沖				延縄	
	176	9月30日午後 (10月1日)	日吉丸	17.55t/木	8人	秋市 越ヶ浜		济州島64km				延縄	
	177	9月30日 (10月1日)	昇進丸	17.12t/木	8人	秋市 越ヶ浜		济州島64km			吉村章一	延縄	
	178	9月30日 (10月1日)	光栄丸	18.52(19)t/ 木	8人	秋市 越ヶ浜		济州島64km				延縄	
	179	9月30日 (10月1日)	太丸	19.83t/木	8人	秋市 越ヶ浜		济州島64km			友永利助	延縄	
	180	9月30日 (10月1日)	第1繁好丸	15.14t/木	8人	秋市 越ヶ浜		济州島64km				延縄	
	181	10月2日 (6日)	蛭子丸 (應比須丸 9月22日?)	(24.89t/木)	9人	秋市 玉ノ浦						延縄	
	182	10月2日	第2蛭子丸 (9月か?)										
	183	10月2日	観音丸(9月27 日もあり?)										
	184	10月2日 (6日)	新興丸	16.51t/木	8人	秋市 越ヶ浜						延縄	
	185	10月2日 (6日)	金座(竜)丸	14.71t/木	8人	秋市 越ヶ浜						延縄	
	186	10月6日	第2蘭栄丸		8人	秋市玉江							
	187	10月4日	第61報国丸	98t(98.29t/ 鋼)	14人	福岡県 戸畑市		報国水産KK	以西				
	188	10月4日	第62報国丸	97.78t/鋼		福岡県 戸畑市		報国水産KK	以西				
	189	10月4日	第5(1)新和丸	(60t)41.95t/ 木	(10人) 島根県も	(五島) 長崎県 南松浦郡	春日万一	以西 五島列島南端第一岬 30哩				中底曳	
	190	10月4日	第6(2)新和丸	40.75t/木		(長崎県 南松浦郡)	春日万一	以西				中底曳	
	191	10月6日	第3五水丸	76.59t/鋼	(3人) 13人	(山口県 豊浦郡 福岡県 福岡市)	福洋水産KK						
	192	10月6日	第15日米丸	92.25t/鋼		山口県 下関市	日米水産KK						
	193	10月6日	第16日米丸	92.25t/鋼	7人	山口県 下関市	日米水産KK						

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種
1953年 (昭和28年)	194	11月4日 午前10時30分	羽衣丸	234t (234.02t/鋼)	20人	戸畑市	日本水産 戸畑支店	以東・以西 濟州島西方 N33°10′ E125°10′(濟州島西南方公海上)		石田武三郎	スチーム トロール	
	195	11月15日 午前2時30分	第7あげほの丸	(341t)342t (343t) 342.67t/ 鋼	24人 (25人) 水産講習所 実習生2人	下関市	日島漁業 下関支店	(濟州島西方70マイル)公海上	304区	大迫重吉	トロール	
	196	11月15日	第1香焼丸	273t	4人		日本水産 戸畑支店	以西	304区		トロール	
1954年 (昭和29年)	197	1(2)月16日	第2強運丸	27.51(27)t/ 木	10人	鳥取県・ 岩美郡東村		以東 朝鮮半島東方公海上			中底曳	
	198	2月13日	第11大(太) 栄丸	76t(83t) 83.48t/木	13人(12) (10人)	福岡市	岸水産 (岸亀吉)	濟州島沖合	266漁区	楠本正雄		
	199	2月16日	ジチ丸(音訳)		10人 (日本人・ 朝鮮人)			西南方沖合				
	200	2月26(20)日 午前6時30分	巡視船 さと	450t型 (422.44t)	39人			濟州島西南西約50マイル	294区中下	小田原安信	公船	
	201	3月3日 午前6時30分	第10高砂丸	72t(72.07t/ 木)	11人 (9人)	福岡県	堀漁業 (堀茂ほか1名)	以西 濟州島南方	275漁区	草苗一生		
	202	3月8日	第9大洋丸	267.38t/鋼	17人 (20人)	下関市	大洋漁業 下関支店	濟州島西方		寺本新次郎	トロール	
	203	3月14日 午後8時50分	第23日米丸	75t(75.80t/ 鋼)	13人	下関市 大和町	日米水産KK	以西 東シナ海 濟州島東南約100マイル	農林305区	三石万吉	手繰	
	204	3月13(14)日 午後6時10分	田村丸	239t(236) 236.63t/鋼	21人	戸畑市	日本水産 戸畑支店	韓国沿岸 濟州島沖 南西約80マイル	農林286区	黒田実治	トロール	
	205	3月31日 15時13分	第65明石丸	75t	14人	下関市	大洋漁業 下関支店	以西 濟州島西南方 144km付近	農林316区 (315)	高野忠助		
	206	3月31日 16時6分	第119明石丸	77t	13人	下関市	大洋漁業 下関支店	以西 濟州島西南方 112km付近	農林316区 (315)	福谷百合夫		
	207	4月7日	第1進漁丸	46.98t/木	10人	下関市		以西 濟州島沖合72km 付近			中底曳	
	208	4月7日	第2進漁丸	46.98t/木	10人	下関市		以西 濟州島沖合72km 付近			中底曳	
209	4月9日	美保丸	30.49(30)t/ 木	9人 (10人)	鳥取県 西伯郡境町	門永英三	以東 浦項近海			岡田重修	中底曳	
210	※4月9日	朝日丸	31.52(30)t/ 木	9人 (10人)	鳥取県 西伯郡東村	奥谷伝方	以東 浦項東南64km (韓国東沿岸から96km)			奥谷和美	中底曳	
211	4月9日	第3(2)天祐丸	32.82(30)t/ 木	9人 (10人)	鳥取県 岩美郡 田後村	朱村備一	以東 浦項東南64km (韓国東沿岸から96km)			若本松夫	中底曳	
212	7月19日 午前9時	第83大漁丸	59.98t/木	11人	福岡市	大洋漁業KK	以西(巨濟島南32km付近) 濟州島沖	223漁区			底曳	

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1954年 (昭和29年)	213	7月19日 午前9時	第85大漁丸	59.98t/木	9人 (10人)	福岡市	大洋漁業KK 会社名	以西(巨濟島南32km付近) 濟州島沖	農林漁区 223漁区			底曳	
	214	7月19日 午前4時	第5玉(玉)力丸	42t(37.58t/ 木)	11人	下関市	大和漁業団 (二村要)	以西			伊達彪	中底引	
	215	9月23(22)日	第6丸六丸	62.35t/木		鹿児島県 串木野			農林漁区 244区				鯖釣り (マグロ延縄)
	216	10月22日 午前0時30分	第12共進丸	97.50(97)t/ 木	39人	鹿児島県 日置郡市 来町	浜田水産会社	濟州島東方約40マイル					サハハね釣
	217	10月22日	漁生丸	75.20(75)t/ 木	39人	下関市	下関漁業 生産組合				三沢満 (27歳)		鯖釣
	218	11月1日	第1大八丸	75t	12人 (13人)	愛媛県 八幡浜市 向灘	大石俊男	以西 10月30日福岡で 濟州島南方30哩			馬場信夫		トロール
	219	11月1日	第2大八丸	75t	12人	愛媛県 八幡浜市 向灘	大石俊男	以西 10月30日福岡で 濟州島南方30哩					トロール
	220	11月9日 朝	第1大和丸	38.51(41)t (27t)/木	10人	浜田市 出雲船団 (八保部千鶴)	大島彌次郎	対馬神崎西北西24マイル 釜山南西約130km 公海上			小川昭		沖合底曳 中
	221	11月9日	第2大和丸	38.51(38)t (72t)/木	11人	浜田市 出雲船団	五十殿正八	対馬神崎北西24マイル 釜山西南方120km 海上 公海上			米井章二		沖合底曳 中
	222	12月18日 6時30分頃	第1浜吉丸	71.28t(71t)	12人	福岡市	浜口漁業 (浜口吉三郎)	以西 濟州島南東約30マイル	農林漁区 254区				底引
	223	12月18日	第2浜吉丸	70.13t	11人	福岡市	浜口吉三郎	以西 2月19日 濟州島南方112 km 2隻捕獲これにて4隻目					底曳
	224	12月19日 午前7時15分	第15共進丸	87t(87.03t/ 綱)	11人	長崎市 丸尾町	極洋捕鯨KK	以西 濟州島南西方約50哩	農林漁区 286区 中付近				
	225	12月19日 午前7時15分	第16共進丸	87t(87.03t/ 綱)	9人	長崎市	極洋捕鯨KK	以西					
	226	12月19日	第1日新丸	79t(79.03t/木)	11人	長崎市	山下泉	釜山へ 以西					
	227	12月19日	第2日新丸	79t(79.82t/木)	11人	長崎市	山下泉	以西					
	228	12月19日	第1大邦(鵬)丸	75t(57.07t/木)	11人	福岡市	大野己之助	以西					
	229	12月19日	第2大邦(鵬)丸	56t(56.89t/木)	12人	福岡市	大野己之助	以西					
	230	12月22日 午前2時 (21日午後11時 ころ搭載)	第3平安丸	38.34t(38t) /木	10人	浜田市 出雲船団	中島正吉	対馬神崎灯台西方20マイル	222区・ 415区		池野和平 (20歳)		沖合 中底曳・ 鯖・太刀魚
	231	12月22(21)日	第30愛幸丸	42.53t/木	21人	福岡市	大洋漁業KK	以西					中底曳
	232	12月22(21)日	第35愛幸丸	41.87t/木	21人	福岡市	大洋漁業KK	以西					中底曳

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種		
1955年 (昭和30年)	233	2月8日	第1筑紫丸	68.99t/木	12人	福岡市	竹内満三郎 (橋詰計一)	以西 济州島南方50マイル沖						
	234	2月8日	第2筑紫丸	68.99t/木	11人	福岡市	竹内満三郎 (橋詰計一)	以西 济州島南方50マイル沖						
	235	2月8日	第6浜吉丸	76.84t/木		長崎市	灘浜男他2名	以西						
	236	2月8日	第11浜吉丸	76.54t/木		長崎市	灘浜男他2名	以西 济州島南方50マイル沖					トロール	
	237	2月14日	第6あけぼの丸		25人			N33°25'E129°14'付近 韓国フリ ゲート艦PF61号と衝突 沈没					トロール	
	238	2月19日 午前6時 55(50)分	第8平漁丸	80t(80.26t/ 鋼)	14人 (島根県人も)	下関市	井上漁業KK (井上米吉)	以西 济州島沖南方19km(南西85 マイル)運行途中しげのため一時 遭難と報道(2日目漂流)N31°45' E124°55' 9時50分 济州島着	305区				手繰 底引	
	239	2月19日 午前6時 55(50)分	第12平漁丸	80t(80.26t/ 鋼)	13人	下関市	井上漁業KK (井上米吉)	以西						
	240	7月22日	第7光与丸	19.09t/木		長崎県								サバ釣
	241	7月22日	第2千鶴丸	44t	8人	下関市	大和漁業	以西 対馬神崎灯台西方70マイル	232区		金子伊勢八 (52才)			中底引
	242	8月3(5)日	第10浜富丸	43.23t/木	9人	山口県	石丸太兵衛	以東						施網母船
	243	8月4日	第2豊栄丸	19.80t/木		長崎県								施網母船
	244	8月4日	第2更生 (興生)丸	19.96t/木 (19t)	8人	長崎県 南松浦郡	奈尾興生 水産所	济州島付近						サバ釣
	245	8月4日	義丸	19.13t/木		長崎県								サバ釣
	246	8月5日	第3(2)朝日丸	74.88t/木 (78t)	約48人	愛媛県 西宇和郡	吉岡惣右衛門		254漁区					サバはね釣
	247	8月6日	第2恵比須丸	16.06t/木		長崎県								サバ釣
248	8月5日	第11(41) 西喜丸	19.76t/木	9人	愛媛県		济州島付近						突棒	
249	8月8日	第3興洋丸	76.06(76)t		長崎市元船								サバはね釣	
250	8月8日	第1昭生丸	54.68t/木	37人	長崎		济州島西方40km			小島茂		サバ釣		
251	8月8日	第2昭生丸	71.45t/木	48人	長崎							サバ釣		
252	8月8(10)日	第6前進丸	54.69(55)t/ 木	40人	長崎市 片羽町 2の33	諸谷義武							サバ釣	
253	8月24日	福洋(岡)丸	25.62t/木	29人	福岡市	加布里漁協							サバ釣	
254	9月15日	第8(1)八束丸	47.70t/木	13人	浜田市 出雲船団	渋谷徳造	対馬・西南	農林222区			表田敏信	沖合中型機船 底引		
255	10月14(16)日	第2徳水丸	65t(63.93t/ 木)	12人 (11人)	福岡市	徳島水産 (徳島喜太郎)	以西							



西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1955年 (昭和30年)	256	10月14(16)日	第2藤幸丸	33.08t/木	17人	長崎県						サバ釣	
	257	11月13日	素水丸	88.62t/鋼	13人	長崎市	日本水産KK	以西 李ライン外				底曳き	
	258	11月13日	麗光丸	88.54t/鋼	12人	長崎市	日本水産KK	以西 李ライン外				底曳き	
	259	11月18日	第3雲仙丸	99t		長崎県	日水長崎支社					手繰	
	260	11月25日 午後10時10分頃	第1金比羅丸	19.02(19)t/ 木	8人	山口県 萩市	玉江浦漁業 協同組合	李ライン内 対馬神崎南10マイル			横田	延縄	
	261	11月25日	長栄丸	10.43(11)t	7人	長崎県		李ライン内				延縄	
	262	12月23日	第15全勝丸	60t(60.99t/ 木)	11人	福岡県 北養町	共栄水産 (門田一夫41才)	以西 济州島南約100マイル 樺を折る	267区			手繰	
	263	12月23日	第16全勝丸	60t(60.99t/ 木)	10人	福岡県 北養町	共栄水産KK	以西 济州島南約100マイル	267区			手繰	
	264	12月24日 10時19分	第133明石丸	75t(75.89t/ 鋼)	13人	長崎市	大洋漁業 長崎支社	以西 济州島					
	265	12月24日 10時19分	第135明石丸	75.89t/鋼		長崎市	大洋漁業KK	以西					
1956年 (昭和31年)	266	4月18日 午前4時50分	第6浜富丸	48.60(48)t/ 木	12人	浜田市 出雲船団	浜村幸雄	対馬神崎灯台西42~43マイル 李ライン外E128°30'N83°40'	農林223区		木村昇	沖合 鯨魚 中底曳	
	267	5月3日朝	第13万生丸	75.00t/木	13人	長崎市 旭町	高田万生丸 合資会社	以西 济州島南約50マイル	276区		中村松太郎 (32才)	手繰	
	268	5月3日朝	第15万生丸	75t(74.96t/ 木)	10人	長崎市 旭町	高田万生丸 合資会社	以西 济州島南約50マイル	276区		山本利徳 (30才)		
	269	7月11日	豊洋丸						農林221区				
	270	8月2(9)日 午前0時20分	太陽丸	72.78(69)t	33人	長崎県 対馬北田勝	比田勝漁協	济州島東約30マイル [李ライン内]	254区		石田?		サバはね釣
	271	8月26日	第3豊漁丸	15.77(16)t/ 木	9人	山口県 油谷町	久津漁業 協同組合						シイラ漬
	272	8月26日	第2幸漁丸	14.85t/木	9人	山口県 油谷町	久津漁業 協同組合						シイラ漬
	273	8月26日	松栄丸	12.32t/木	9人	山口県 油谷町	大浦漁業 協同組合						シイラ漬
	274	9月21日	第1昌和丸	80t(79.96t/木)	13人	福岡市	森口漁業KK	以西					
	275	9月21日	第2昌和丸	79.96t/木	11人	福岡市	森口漁業KK	以西					
	276	9月29日	(第2)大福丸	32t(32.17t)	9人	鳥取県 境港 (岩美郡 田後村)	田後漁協所属	以東 北端東北東40マイル 対馬	255-6区			水野松治	底曳
	277	9月29日	日光丸	31t(31.46t)	9人	鳥取県 境港 (岩美郡 田後村)	但井六蔵	以東	255-6区			但井英夫	底曳

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・W)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1956年 (昭和31年)	278	10月15日	第25大基丸	67.96t/木	12人	山口県 下関市	越智水産KK	以西				底引	
	279	10月15日	第1東丸	73t(73.48t/ 木)	13人	山口県 下関市	山口県漁業 生産組合	以西					底引
	280	11月5日	新(盛)生丸	2.29t/木	2人	長崎県							曳縄
	281	11月5日	照風丸	3.19t/木	2人	兵庫県							曳縄
	282	12月26日 午前4時30分	明石丸	344t(334t/ 344.65t/鋼)	23人	戸畑市	日本水産KK 戸畑支店	以西 济州島西150マイル ライン外	323区		利田秀吉		トロール
	283	12月26日 午前2時45分	加茂丸	234総t (234.67t/鋼)	21人	戸畑市	日本水産KK 戸畑支店	以西 济州島西150マイル ライン外	324区		木田間平		トロール
	284	12月26日 午後1時30分頃	第1千鳥丸	71総t	13人	下関市 竹崎町	山口県漁業 生産組合	以西 济州島西方約110マイル ライン外	323区付近		大前秋正		手繰 底引
	285	12月26日?	第2千鳥丸	71総t (71.60t/木)	12人	下関市 竹崎町	山口県漁業 生産組合	以西 ライン外					手繰 底引
1957年 (昭和32年)	286	1月24日 午後6時40分	第3福田丸	48.12(48)t/ 木	25人	長崎県		N35°14' E129°57' 対馬北東50哩		早野寅一	久保田隆 (26才)	あくり本船 旋網	
	287	1月24日夜	第15福田丸	19.35(19)t	8人 (7人)	長崎県		N35°14' E129°57' 対馬北東50哩			寺井嘉八 (55才)	あくり母船 (運搬船) 施網 (キン着)	
	288	1月24日	若宮丸	14.87(14)t	7人	長崎県		N35°14' E129°57' 対馬北東50哩			桂田正 (29才)	旋網小型運 搬船	
	289	1月25日 朝7時35分	第3福漁丸	8.82(8)t	5人	長崎県		釜山沖東方30マイル			寺井熊夫 (41才)	施網 灯船	
	290	1月24日	第5福漁丸	8.82(8)t	5人	長崎県		対馬沖漁場			高峰実	施網 灯船	
	291	1月25日 7時40分	第78明石丸	75t(75.80t/ 鋼)	13人	下関市	大洋漁業KK 下関支店	以西 济州島西方150マイル (李ライン外20マイル) 東シナ海	農林324区 中下			浜野秀二 (41才)	手繰船主船 底引
	292	1月25日 午前7時40分	第79明石丸	75t(75.80t/ 鋼)	12人	下関市	大洋漁業KK 下関支店	以西 東シナ海 満船馬港中 農林324区内ライン外付近で 不法拿捕	農林324区 中下			浅井勇 (28・29才)	手繰船片船 底引
	293	2月12日	第5八幡丸	57.96t				長崎県五島大瀬先北西110km					底引
	294	7月16日 午前1時頃	おじか丸第3 小値貫丸	19.8(19)t/木	11人	長崎県		以西	農林漁区 244区				シイラ漬
	295	11月1日 午前7時40分頃	勢(盛)力丸	2.21(2)t/木	2人	長崎県 対馬大船 越根処		N34°10' E128°58' (対馬西方6 マイル)李ライン外	農林212区				シビカツオ漁 延縄

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種
1957年 (昭和32年)	296	11月21日 午後4時40分・ 満月の夜	第13明石丸	84t	12人	福岡市	大洋漁業 福岡営業所	以西 大青群島 西方約40マイル	125区			底引
	297	11月21日	第15明石丸	84t	11人	福岡市	大洋漁業 福岡営業所	以西 大青群島 西方約40マイル	125区			底引
	298	11月26日	第3日進丸	74t(74.96t/鋼)	13人	下関市	日魯漁業KK				(沖元正幸)	
1958年 (昭和33年)	299	1月10日 午後11時50分	泰生丸	39.82t/木	8人	長崎県 五島若松町 神部	茂木庄八 (44才)				山下利一 (34才)	旋網 運搬船
	300	1月11日	第5泰生(大 漁・豪魚)丸	34.53(35)t/ 木	7人 (6人)	長崎県 五島若松町 神部	大坪嘉七 (75才)				荒木宏 (26才)	旋網 鮮魚運搬
	301	2月6日 1時15分 (午前0時45分 ～1時15分)	第8日真丸	92t	13人	下関市 大和町	日東漁業 (七田社長)	以西 大黒山群島 西方約90哩 李ライン外	農林321区		大庭清一 (45才)	手繰船
302	3月20日	第62玉幸丸	89t	13人	下関市	宝幸水産 下関出張所	以西 済州島西120マイル	農林323区				
303	3月20日 9時34分	第2蛭子丸	78.01t(78t)	12人	福岡市	多田水産	以西	286区右下		森茂樹		手繰船
304	3月20日 9時34分	第3蛭子丸	79.31t(78) (79t)	11人	福岡市	多田水産	以西	286区右下		谷脇重雄		手繰船
305	3月31日	第18玉栄丸	74.85t	11人	福岡市	玉野漁業	以西	287区中 付近				
306	4月20日	第11龜秀丸		10人	長崎県			256区				
307	6月26日 午前4時	第2星丸	32.98t	10人	長崎市	大洋漁業 長崎支社	五島荒川港西北西80km 李ライン南方16km	農林245区			小林光盛	まさ網 付厩船 魚運搬船
1959年 (昭和34年)	308	1月22日 午後0時54分 (0時15分)	第183明石丸	98t(98.08)	13人	山口県 下関市	大洋漁業 下関支店	以西 N84°56'(34°45')E123°19' 付近(124°04')				手繰 底曳
	309	1月22日 午前11時50分頃 (11時20分)	第185明石丸	98t	12人	山口県 下関市	大洋漁業 下関支店	以西 (大黒山群島西方120km) N34°59'E123°29'付近	321農林 漁区		井上友太郎	手繰 僚船
	310	2月4日 午前5時30分 ～8時	浜久丸	(5t)5.10t/木	6人	佐賀県 唐津市		対馬上対馬町泉の北17km (李ライン外)			浜田辰雄	1本釣
311	5月13日 夜10時	第2山王丸	54t	10人 (9人)	下関市 竹崎町	魚田漁業部 責任者 亀田建二	以西 五島列島西方140kmで「く ろかみ」連行目撃.五島西方約 100K農林漁区左.中付近李ライ ン外(E127°51'N82°49'付近)	245区		中村幸俊		

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種
1959年 (昭和34年)	312	6月3日 午前2時20分頃	第2松栄丸	19.86(19)t/ 木	11人	長崎県 北松浦郡 宗久町 平郷	松本幹吉所有	五島福江島北西60km(飯泊中 季ライン外16km・五島白瀬灯 台西方35マイル季ライン外6 哩E41°28'06"N33°11.5'・N33°50' E128°03.5'付近)	農林234区 左下		松本幹吉 (29才)	シイラ漬
	313	7月22日 午後3時15分頃	第7光与丸	19t	12人	長崎県 北松浦郡 小値賀		九州島東108km N33°55'E128°35'公海上(季ラ イン内)N33°50'E128°3'5"11.5'	233区			シイラ漬
	314	8月21日 午前6時30分頃	第27富久丸	19.90(20)t/ 木	6人	長崎県 五島奈良尾	宝永水産	五島西北90km・五島西方 季ライン外	245区		小瀬和一	旋網(まきあ み)横船 附
	315	8月21日 午前6時30分	第38長生丸	18.51(18)t/ 木	5人	長崎県 五島奈良尾	宝永水産	五島西北90km	農林244区		田端秀夫	旋網
	316	9月14日朝	第3明栄丸	69t	9人	下関市	協栄水産	九州島南南西				旋網
	317	9月30日 午前2時5分	第18幸洋丸	59.58t (59.98t)/木	34人 (35人?)	長崎県 北松浦郡 五島奈良尾	清田富士男 (幸平)所有	九州島東54km・五島西方	254漁区			まさ網母船
	318	2月12日 午前5時38分	第5八幡丸	57.96t/木	13人			以西 N(32°57')32°55'・33°71' (E127°38')127°55'・127°34'4"			春日春梅	底曳
	319	6月26日 午前7時2分	第22漁生丸	37.37(37)t/ 木	7人	長崎県 北松浦郡 小値賀町		九州島北東15哩 N37°45'E127°04'			真浦神	旋網 まさ網運搬船 鰯釣
	320	6月30日 午前6時頃	第35吉粧丸	(90)98.55t (96.55)/鋼	10人	下関市 竹崎町	井上漁業	N33°37'E127°33' 九州島北東15哩			田中正雄	旋網付属 運搬船 (サバ魚)
	321	6月30日 午前5時30分	第7大福丸	19.83t/木	6人	長崎県 松浦郡 奈良尾町 岩瀬浦	大福漁業	N33°37'E127°32'				旋網灯船 サバ魚 附
322	7月14日 午後0時10分	宝漁丸	19.08(19)t/ 木	10人	長崎県		対馬西方約60km(西方季ライ ン内8哩)N32°54'(33°54.2' E128°33'(128°23'))	233漁区		前田勉	シイラ漬	
323	7月15日 午前9時40分	金比羅丸	6.5(6)t/木	6人	長崎県		以西 釜山西方20マイル付近 (対馬の北東季ライン外1.6マイ ル)N34°55'(34°47.5')E129°25' (129°33'季ライン外1.6哩)				いか一本釣	
1961年 (昭和36年)	324	1月13日 午後1時40分	入江丸	10t(10.69t)	5人	対馬水崎 (下関郡 豊玉村)	藤川徳松 (54才)	対馬北端三島灯台北方7.5km (約4哩)公海	農林221区 の2		藤川徳松 (54才)	フカ延縄
	325	3月15日	第2進栄丸	19.6t(11.9t)	10人			九州島南東約32km 3月16日 韓国外務省発表平和ライン侵犯			瀬尾辰吉	延縄
	326	3月20日 午後8時45分	第2秋田丸	80t(80.40t)	11人	福岡市 北湊町	秋田水産	九州島東方 牛島南東約34マイル	254区		中村幸一	底引

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	漁労長名	船長名	船種・魚種
1961年 (昭和36年)	327	4月24(20)日 午前4時40分頃	第3龜秀丸	90t(90.95t)	12人	長崎市 旭町 (稲佐町)	豊崎佳一 所有	李ライン内18km濟州島 南西144km	農林286 漁区	多正幸	底引
	328	6月12日 午前5時20分	喜久恵丸	(80.4t+20t) 19.96t/木	9人	佐賀県 唐津市 神集島	秋水水産	濟州島南方55km(東方) N32°45'E126°45'公海機關不調 漂流午前3時40分巡視船くろ かみに移乗	265区	高(宮)崎 為七(七郎)	延縄
	329	7月9日 午前11時14分	第3宮崎丸	(19t+20t) 11.89t/木	8人 (9人)	佐賀県 唐津市 唐房漁協	高崎青四郎 (為七)所有	濟州島南方約100km N32°16'E127°13'公海	266漁区	岩井富蔵	延縄
	330	8月22日 午前8時7分	第88愛幸丸	99.44t	14人	下関市 大和町	乾水産 株式会社	以西 濟州島西南西約90マイル N32°42'5"E124°21'公海	農林305区	明石繁明	底曳
	331	9月6日 午後7時30分	第1玉浦丸	19.44t	10人	山口県 豊北町	矢玉漁協	濟州島南方 李ライン外7マイル	257区	内野喜一	延縄
	332	9月19日 午前8時32分	第15明栄丸	78.14t(79t)	8人	山口県 下関市	協栄水産	五島大瀬崎灯台野北方 約30マイル 李ライン外 N33°5'E128°10'		紙田要 (浜津松雄)	遠洋延縄運搬
	333	10月13日 午後11時40分頃	第3大洋丸	79.53t(79t)	33人	長崎県 五島奈良 尾町	大洋丸 漁業会社	濟州島東方62km N33°38'E127°40'付近公海	農林248 漁区	田端秀男	延縄
	334	10月13日 午後11時40分頃	第63大洋丸	79.53t(80t)	14人	長崎県 五島奈良 尾町	大洋丸 漁業会社	N33°38'E127°40'付近公海		林堅	延縄運搬船
	335	10月29日 午前6時50分	第1進漁丸	33.94t	11人	長門市 仙崎		対馬比田勝東方13km	農林201 漁区	吉津久雄	沖中型底引
	336	10月29日 午前6時50分頃	泰郁丸	27t	8人	萩市 玉江浦	永富清			永富清	延縄
	337	11月3日 午前4時5分	第2真洋丸	44t(42t)	10人	浜田市	市木屋菊一	以東 対馬豆敷灯台西南70km (74) 微南26km	農林222 区の6・9 225区の9	花部啓作	沖合底引
	338	12月15日 午後8時35分	第2進栄丸	19.60t(19t)	6人	長崎県 北松浦郡 宇久町 神浦66		濟州島東端南南西90km付近 N32°29.5'E127°08'公海		瀬尾辰雄	延縄
	1962年 (昭和37年)	339	3月20日 午前5時20分	第1宮崎丸	19t	9人 (7人)	佐賀県 唐津市 唐房	宮崎清四郎	濟州島南55km N32°43'E126°56.8'公海	農林265 漁区	宮崎七郎
340		5月13日 午前6時	第5宮崎丸	19.62t	7人 (8人)	佐賀県 唐津市		N32°20'E126°55'付近公海	266漁区	宮崎七郎	延縄
341		5月13日 午後5時25分頃	長久丸	16t(16.08t)	9人	唐津市 唐房漁協		濟州島南方約140km N32°15'E126°55'付近公海	266漁区	浜口久人	

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種
1962年 (昭和37年)	342	5月13日 午後3時25(20分)	第2磨洋丸	44t(44.42t)	11人	浜田市	市木屋菊一	神崎灯台北西28km 対馬豆殿 灯台南西27km N34°15'E128°57' 付近公海	農林222 漁区		花部啓作	沖合(中型) 底引
	343	5月22日 1時50分	安栄丸	19t(19.53t)	9人	長崎県 北松浦郡 宇久町		九州島南約175km 仮泊中 N31°58.5'E126°51'公海	農林267 漁区			延縄
	344	5月30日 午後11時30分	姫島丸	8.4t(8.44t)	6人	長崎県		五島大瀬崎灯台北西40マイル 付近N33°25'E127°50'付近公海	244区の3			シイラ漬
	345	9月23日 午前1時10分	第31伊藤丸	98t	18人	愛媛県	三瓶漁業 水産組合	五島列島西方公海上 N33°11'E128°3'公海				旋網
	346	10月3日 午後11時40分	第15富栄丸	79t	8人	長崎県 惠比須町	備松主昭徳水産・ 松主崎市富栄 海運有限会社	五島福江島北北西約90km 李ライン外N33°17'E128°16'				旋網母船
	347	10月19日 午前11時53分	第5大洋丸	499t	27人	下関市	大洋漁業KK	九州島南方約55km 李ライン外 N32°52'E126°25.5'公海	265漁区		新倉喜八郎	トロール
	348	11月13日 午前10時	第11寿吉丸	64t(64.54t)	(13人) 14人	長崎県 南松浦郡 上五島	共和漁業(有) 斎藤育宏	以西 五島大瀬崎北北西77km N32°42.5'E127°38'公海				手繰 底曳
	349	12月13日 午前1時15分 (午前4時30分)	第22昭徳丸	89t(89.89t)	12人	福岡市 北葵	昭徳水産	以西 五島大瀬崎北北西約110km N33°3'E127°46'公海			(弘)張野義雄	底引
	350	12月13日 午前7時50分頃 (午前7時30分頃)	金毘羅丸	14.5t	7人	長崎県 壱岐郡 芦辺町	馬渡英雄	対馬南方公海上 対馬西方500 km N34°05'E128°32'付近公海	農林222 漁区の9		小島勝一 (40才)	延縄
	351	12月13日 午前7時50分 (午前7時30分頃)	敏丸	14.6t(14.65t)	6人	佐賀県 東松浦郡 鎮西町 馬渡島	奈良崎政敏	対馬南方公海上 対馬西方500km	農林222 漁区の9			
352	12月13日 午前7時50分 (午前8時頃)	第2幸栄丸	12t(19.41t)	7人	佐賀県 東松浦郡 肥前町高岸	岩本富松	対馬南方公海上 対馬西方500km	農林222 漁区の9				
353	12月19日 午前6時10分	第6昭正丸	77.59t	7人	下関市 伊崎町187	昭正水産	韓国小黒山群島西方約60km N33°52'E124°46'公海	313区				旋網鮮魚 運搬船
354	2月11日 午前4時	第177明石丸		12人	下関市	大洋漁業KK 下関支社	以西 九州島南東約400km	農林245区			川添広一 (42才)	底曳
355	2月11日 午前9時	第15進栄丸	83t(89.59t) 89.61t	11(6)人	福岡市 北奏町 (港町)	新日本漁業 KK	以西				田井良雄 (34才)	底引
356	3月16日	第8大成丸	49.18t(49t)	12人	浜田市	船主藤川伝吉 (島根県簸川郡 大社町)	対馬南端西方約50km	農林229区			田中重喜	沖合

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1963年 (昭和38年)	357	6月1日 午後5時20分頃	八幡丸	14.92t	8人	山口県 萩市朝川	正宗信二	対馬北方約35km(沿岸13カイ リ) N35°0.30'E129°22'公海				沖合小型底曳	
	358	6月10日 午後2時20分	第10美好丸	13.14t	7人	鳥根県 那賀郡 三隅町	岡見漁協	長崎県五島西南445km (済州島東南172km)(李ライン 外)	256漁区 の9		木村鉄夫 (45才)	沿岸延縄	
	359	6月10日 午後2時20分	三宝丸	14.5t	6人	鳥根県 那賀郡 三隅町	岡見漁協	長崎県五島西南445km (済州島東南172km)(李ライン 外)	256漁区 の9		次藤悟 (46才)	沿岸延縄片船	
	360	6月11日 午後4時40分	第2宮崎丸	18.3t	10人	佐賀県 唐津市 唐房漁協	(唐房漁協 組合長) 宮崎清四郎	済州島南方約60km (李ライン内)	農林656 漁区		宮崎昭 (36才)	沿岸延縄	
	361	6月12日 午後	巡視船のしろ	270t (243.08t)			第8管区海上 保安本部						公船
	362	6月15日 午前2時30分	甚政丸	17.61t	11人	佐賀県 唐津市 唐房漁協	浜口政太所有	済州島東南約130km李ライン内	農林266区		高市親志	沿岸延縄	
	363	7月22日 午前6時40分	第28昭正丸	77.93t	7人	長崎県 北松浦郡 奈良尾町	竹内与平	李ライン内	農林244区 の7				旋網
	364	7月28日 午前6時	第3福栄丸	76.15t	7人	長崎市 大黒町	末広水産	済州島東方44k (李ライン内)					旋網 鮮魚運搬船
	365	8月29日	金比羅丸 (金吉丸)	7.67t	4人	長崎県 対馬下県 郡豊玉村 佐賀	水崎漁協・ 土臨春男	対馬牛島灯台の西方約18km (西方約9マイル李ライン外) (10連)	農林212漁 区				ふか延縄
	366	9月19日 午前2時	第13昭正丸	85.4t(85.48t) 89t	7人	長崎県 南松浦郡 有川町 阿瀬津	永田スエ子	対馬西南西 82km(李ライン内)					旋網運搬船
	367	9月19日 午前9時45(40)分	第5清興丸	46.16t (46.38t)	12人	浜田市 元浜町62	大達信之助	N34°15' E128°52'対馬西方21 (37)km李ラインから5.6km	農林222区 の2		中里幸一	旋網 沖合 大型船底引	
	368	9月22日 午後10時50分	第38(23)一丸	19t	6人	熊本県 牛深市	浜中水産 (漁業) 浜中健太郎	対馬西南西82km(李ライン内)				川田武	旋網(巻網)
369	9月27日 午前5時10分	第1(10)福宝丸	(79.6t)79.65t	34人	長崎市 金屋町2	福宝水産KK	済州島東方44km(李ライン内)				津田庄次 (27才)	旋網	
370	9月27日 午前9時	第27大基 (甚)丸	67.76t	10人	下関市 大和町	越智水産KK	五島大瀬崎北西77.7km 午後8:30航	農林234区 の8			池田汎	旋網鮮魚 運搬	
371	1月29日 午後3時20分	第22佐代丸	84.64t	12人	福岡県 西湊町	勝瀬漁業KK	以西韓国西方大黒山島付近	農林110区 の8			西内忠男	底引	

西暦 (年号)	整理 番号	月日 時分	船名	t数/船質	乗組員数	漁業基地	船主(所有者)・ 会社名	以東・以西 拿捕地点(E・N)	農林漁区	漁労長名	船長名	船種・魚種	
1964年 (昭和39年)	372	5月5日 午後10時40分	新洋丸	19.4t(19t)	8人	長崎県 北松浦郡 宇久町 平郷	松本平(幸)治	濟州島南東115km	農林漁区 266区の4		船長代理 金山利吉	延縄	
	373	5月13日 午後3時40分	巡視船ちくご	270t型 (243.08t)			第7管区海上 保安本部	大黒山群島近海			福島?	公船	
	374	6月15日	第83宝幸丸		11人	下関市	宝幸水産	以西・濟州島南東77km				底引	
	375	6月23日 午後2時14分	第11住吉丸	99.95t	13人 (14人)	福岡市	森口漁業	以西・濟州島南55kmの海上 7時間後釈放					
	376	6月25日 午後1時2分	国見丸	94t	12人	長崎市	日本水産 長崎支店	以西・濟州島南南西約80マイル	農林漁区 286の9			底引	
	377	8月26日 未明	第28源福丸	79t	35人	長崎県 北松浦郡 生月町							旋網
	378	9月11日 午後10時40分頃	第82源福丸	101.6t	8人	長崎市 台場町3-3	東洋漁業	群山北西方20km	農林88区		小島一美		旋網運搬船
	379	9月18日 午前7時	第65昭徳丸	83.98t	10人	長崎市 恵比須町	昭徳水産	濟州島西方45km 李ライン内 日本政府は公海上で不法に 捕獲された	農林284区 の2		江上巖		
	380	10月5日 午前0時20分	第58宝洋丸	77.54t(78t)	7人	長崎県 南松浦郡 奈良尾町	宝洋水産KK	濟州島東約83km	農林244-7 漁区		富田留夫 (41才)		旋網運搬船
	381	5月22日 午後8時30分頃	長永丸	14.4t	7人	島根県 那賀郡 三隅町			233区の8		吉田一		
382	5月22日 午後9時15分	金昭丸	11t	7人	山口県 萩市 大字大井		対馬豆蔵崎西方99km			平井久男		延縄	
383	3月14日 午前2時過ぎ	第53海洋丸	104t	13人	下関市 大和町	協栄水産	以西・濟州島32km共同水域 (濟州島北西端飛鳥島西6.3 km)N33°20'E125°50'臨検				末広利衛	底引	



表1-2 日韓関係において拿捕等された日本船(漁船・公船)一覧表 自昭和20年(1945年)～至昭和41年(1966年)

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲物の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
1							
2					盗難 山口県大浦港から韓国へ	NO.128	
3					盗難 下関より釜山方面	NO.135	
4					盗難 下関より馬山方面(韓国人船長)	NO.134	
5					朝鮮人による盗難 下関	NO.129	
6					盗難(韓国人による集団帰国)下関 留守番の韓国人と帰国する韓国人	NO.137	
7					盗難(下関で)	NO.130	
8					盗難(下関で)	NO.131	
9					盗難(浜田港で)	NO.136	
10					盗難(香住町で)	NO.139	
11					盗難 韓国人10数名が掠奪 4月12日方 魚津に入港売却 乗組員 4月19日帰還	NO.112	
12		Korean patrol ship (American) 米兵3人 韓兵3人 通訳1人	2月4日24時釜山へ	2月28日 軍政部裁判、漁獲物149函 没収	5月1日 佐世保に帰る	NO.98	n1
13							r2
14							r3
15					昭和22年6月12日船体・船員帰還		r4
16					昭和22年6月12日船体・船員帰還		r5
17							r6
18							r7
19							r8
20					盗難 韓国生まれ乗組員と韓国人による 下関から麗水	NO.111	
21					盗難(下関で)	NO.132	
22					外務省記録 1946年12月に島根県漁船 海幸丸釜山抑留中 12月18日付島根県 知事宛て		r9
23	漂流・漁具修理中射撃	Korean patrol ship (boat)			1949年1月3日 returned (GHQを通じて帰還)	NO.107	n10
24		Korean patrol ship (boat)			1949年1月3日 returned (GHQを通じて帰還)	NO.108	n11
25	発砲	韓国監視船			1949年1月3日 returned (GHQを通じて帰還)	NO.106	n12
26	威嚇射撃		済州島へその後麗水へ	自認書 麗水で取り調べ雑役に服す 自認書 昭和23年4月2日麗水を脱 出し4月3日下関へ全員帰還		NO.94	n13
27			兄弟島から麗水へ			NO.101	n14

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所 其の後の処置 判決理由 釈放、乗組員、船、漁具、漁獲物の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
28				自認書 昭和24年1月3日帰還	1949年1月3日(GHQを通じて帰還)	NO.102	n15
29				自認書 昭和24年1月3日帰還	1949年1月3日(GHQを通じて帰還)	NO.109	n16
30				自認書 昭和24年1月3日帰還	昭和24年1月3日船体・乗組員帰還	NO.110	n17
31			濟州島へ	昭和23年4月15日全員脱出福岡に帰還	1948年4月3日船体・乗組員脱出帰還	NO.95	n18
32			濟州島から西帰浦へ	韓国側で使用(船)	昭和23年4月15日乗組員のみ帰還	NO.96	n19
33			濟州島南加波島	昭和23年3月17日第11日進丸の乗員を乗せて脱出し下関へ帰る	1948年3月18日脱出帰還 (傍船座礁の片船)	NO.114	
34			濟州島南西加波島	韓国側で使用(船)	1950年2月5日 returned	NO.115	
35	発砲 負傷者1名(脱出時)	忠武427号	西帰浦から濟州島再び西帰浦	抑留中全員殴られる。西帰浦から23時50分瑞穂丸に乗り移り脱出 7月1日戸畑へかえる		NO.55	n20
36					1949年1月3日 returned (GHQを通じて帰還)	NO.105	n21
37		忠武号 (Korean patrol boat)	濟州島へ	自認書 漁獲物・無線設備等一部没収される 脱出戸畑へ帰還	1949年7月1日 returned 1948年6月28日返還(脱出帰還)	NO.56	n22
38						NO.112?	
39	射撃	501号	10月22日11時頃 濟州島	昭和24年1月8日 大衆丸で全員博多に帰還	船体未帰還	NO.92	n23
40		501号	濟州島へ	昭和24年1月8日 大衆丸で全員博多に帰還	船体未帰還	NO.93	n24
41					盗難(高浜より)	NO.138	
42		韓国海軍	12月29日釜山日本人収容所へ	昭和24年1月12日海王丸に乗り1月13日全員佐世保に帰還	韓国側で使用	NO.113	
43				昭和24年2月6日船体・乗組員帰還		NO.208	
44				昭和24年2月6日船体・乗組員帰還		NO.209	n25
45	韓国船より銃撃され船長死亡		濟州島(西帰浦)へ	船体・乗組員帰還	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還) 日本漁船入手目的か	NO.57	n26
46	銃撃され漁撈長死亡		3月8日巨文島へ	漁具・船具没収、昭和34年、3月12日船・乗組員帰還	日本漁船入手目的か	NO.99	n27
47	銃撃		釜山へ	昭和34年3月12日船・人員帰還	1949年3月12日returned	NO.100	n28
48		508号		濟州島の共産軍への武器の密輸検査うけるが疑いが解け4月2日福岡に帰る		NO.142	n29
49				4月2日船体・乗組員帰還		NO.143	n30
50	銃撃で船長背中負傷・機関長若本為治死亡(2発頭部に)	韓国船	5月5日9時竹辺へ入港 後墨湖へ	昭和24年6月29日釜山より引揚船 黄金丸で佐世保に	1950年3月17日returned 日本漁船入手目的か	NO.97	n31

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所 其の後の処置 判決理由 船放、乗組員、船、漁具、漁獲物の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
51	船長上陸後過労衰弱により病死			自認書 7月29日乗組員こがね丸で佐世保に帰る		NO.116	n32
52	對馬で1人の韓国人に拳銃を突き付けられ6月28日釜山へ		6月29日検挙される	7月29日船長佐世保に帰る 8月7日に日本人乗組員2人佐世保に帰る		NO.48	
53		512号	9月8日釜山へ収容所(待遇良好と)	自認書 国境線2里越境と始末書、漁具その他没収 9月24日乗組員のみ帰る(交換船日本丸)	1950年9月17日returned	NO.45	n33
54				自認書 博多出る	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還)	NO.20	n34
55					盗難(柴山で韓国人3人余による)	NO.86	
56	機銃2発宛3回威嚇射撃	C36(韓国人による)		自認書 増吉丸に5人乗移された	盗難(韓国人による)	NO.15	n35
57				自認書	1950年3月17日returned	NO.104	n36
58				自認書	1950年3月3日returned	NO.42	n37
59				自認書	盗難	NO.41	n38
60					秋市小幡湊で韓国人により乗り逃げ	NO.103	
61					盗難		
62		309号		自認書 漁獲物1887箱没収	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還) 乗組員昭和25年1月25日帰還	NO.82	n39
63		309号		自認書	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還) 乗組員昭和25年1月25日帰還	NO.83	n40
64	発砲			自認書	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還)	NO.85	n41
65	陸船より機銃射撃	301号		自認書	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還)	NO.81	n42
66		301号(第17喜久丸)武装兵乗船		自認書	1950年3月3日returned (GHQを通じて帰還)	NO.84	n43
67					1950年2月1(8)日returned (GHQを通じて帰還)	NO.91	n44
68					1950年2月6日returned (GHQを通じて帰還)	NO.89	n45
69					1950年2月6(7)日returned (GHQを通じて帰還)	NO.90	n46
70	連続的射撃	韓国警備船			1950年2月5(7)日returned (GHQを通じて帰還)	NO.88	n47
71					(行方不明)境港より韓国人により	NO.133	

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
72					下関岸壁にて韓国人に脅迫、銃営に至る。乗組員は5月13日舞鶴に帰還		
73	4回実弾射撃			2月7日15時30分釜山へ、海軍憲兵隊取調(自認書・白書・始末書・確認書)2月7日22時帰国命令 2月9日8時30分境港に帰る		NO.140	r48
74					盗難(惠曇より)	NO.141	
75					対馬から小倉に向かう途中	NO.195	
76			木浦へ		盗難	NO.129	
77					盗難	NO.137	
78					下関で盗難		r49 美島丸とあり
79	射撃	海軍浦項警備庁	12月26日10時船・船員釈放				
80	威嚇射撃	約20t位の黒塗漁船 海軍浦項警備庁	12月26日10時船・船員釈放	不法に拿捕された	昭和27年香住町香住山脇節夫が天龍丸を購入し船名を栄徳丸と変更し機船底を網漁業を経営、昭和30年廃業		r50 牟丸とあり
81		701艦	12月19日6時 船・船員釈放				r51
82		警備庁憲兵隊	1月17日11時船・船員釈放(18日)	1月14日米海軍司令部より佐世保海上保安部へ濟州島で修理完了次第日本へ帰還	第11徳広丸 75t 13人乗 濟州島西10マイル馬淵島付近浅瀬に乗り上げ沈没		r52
83		警備庁憲兵隊	国連関係		濟州馬羅島座礁沈没(小破引き揚げ可能) 第8徳弘丸船員13名も釈放		r53
84				行方不明	1月15日米海軍の臨検 密輸の疑い 元山沖 乗組員米艦に移され船撃沈 米飛行機で菓物拘置所へ		
85		美駆逐艦703艦拿捕	海軍省警備庁へ引渡	領海侵犯の疑い 漁船・漁具没収 韓国海軍使用中	海軍作命甲第161号(艦記4284年3月2日付)及3月9日付海軍省参謀長布告文		r54
86					香住港より航走(繫留中夜乗り逃げ)		r55 拿捕とあるが盗難船
87		海兵隊11号艇			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日 国連軍を通じて帰還)		r56
88		濟州警備庁	国連関係		沈没 朝鮮動乱中の国連軍艦艇に遭遇 小破引き揚げ可能 11人昭和26年6月28日帰還		r57
89		濟州警備庁	濟州邑へ 国連関係	朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇 濟州島警備隊にて使用中 8人昭和26年6月28日、2人7月24日帰還			r58

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難（Robbery）その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
90		61艦			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（6月3日国連軍を通じて帰還）船体・乗組員帰還		r59
91		61艦			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（6月3日国連軍を通じて帰還）		r60
92		済州警備庁			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r61
93		済州警備庁			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r62
94		702艦			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r63
95		702艦			朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）船体・乗組員帰還		r64
96					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r65
97					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r66
98					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r67
99					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r68
100					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		r69
101					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n70
102					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n71
103					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n72
104					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n73
105					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n74
106					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n75
107					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇（5月26日国連軍を通じて帰還）		n76

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
108					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還)		n77
109					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還) 船体・乗組員帰還		n78
110					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還) 船体・乗組員帰還		n79
111					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還)		n80
112					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還)		n81
113					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(4月12日遭難信号により水産庁監視船にて曳航帰還)		n82
114					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(4月10日脱出帰還)		n83
115					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還)		n84
116					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還)		n85
117					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還) 船体・乗組員帰還		n86
118					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇(5月26日国連軍を通じて帰還) 船体・乗組員帰還		n87
119					朝鮮動乱作戦中の国連軍艦艇に遭遇		n88
120		濟州島		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)			n89
121		濟州島		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)	船体・乗組員帰還		n90
122		濟州島		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)	船体・乗組員帰還		n91
123		濟州島		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)	船体・乗組員帰還		n92
124		濟州島		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)	船体・乗組員帰還		n93
125							n94
126							n95
127		釜山		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)			n96
128		釜山		1951年9月17日釈放(漁具・船具没収)			n97
129							n98

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
130					李ライン宣言直後捜索願 1月25日韓国船を救助し韓国に送還 感謝状及び禁漁区での操業許可を得る 2月4日香任に帰る 韓国警備艇は没収後暗の彼方へ消えた		r99 n100 n101
131	銃撃 船員1人死亡			漁獲物・漁具を没収			
132							
133							
134		韓国海軍302号		9月11日。9月20日公判。濟州島裁判所。2年5万懲役2ヶ月並びに1人当たり罰金1万-30万円没収			n102
135		301号	韓国沿岸警備局より濟州島警備局へ	擅記4285年11月28日言渡。漁業法違反。刑法第19条により船体・漁具没収。漁務長・船長罰金各25万円。機関長・甲板長各20万円。通信士15万円。弁護料150万円	罰金刑、没収 7名12月18日午前9時 大韓海運会社ウオンス号(573t)で大阪へ		n103
136			韓国沿岸警備局より濟州島警備局へ	11月26日言渡。出入国管理令及び漁業法違反。刑法第19条により。責任者7名各5万円罰金懲役2ヶ月 弁護士2名弁護料200万円	濟州地方検察庁 韓国公法第65号違反 船体・漁具没収。責任者5名罰金105万円 9名12月18日大阪へ		n104
137			韓国沿岸警備局より濟州島警備局へ				n105
138	10数発銃撃 停船 接舷 調査	韓国警備艇					
139		韓国旗を掲げた韓国兵乗船、巾着網船を含む10数隻にとり囲まれる。威嚇発砲					m106
140		韓国旗を掲げた韓国兵乗船、巾着網船を含む10数隻にとり囲まれる。威嚇発砲					m107
141	機関長短銃で頭部を殴られ馬山病院で手当て	韓国(馬山)税関監視船海星丸	馬山警察留置所に8日間馬山検事局で13回取り調べ	馬山地方裁判所にて20日間検事の取り調べ2月1日弁護士なしの公判。李ライン停犯。漁業法違反で船・鮮魚1500貫没収。2月5日1人当たり100万円の罰金の言渡し	1ヶ月後位に脱出帰還 1ヶ月後位に脱出帰還		m108
142	2月6日23時漁撈長(34歳)銃撃を受け病院で死亡。78(68)発の弾丸を受ける	大分県津久見で建造第11・第2昌運号(手繰船)	消防署詰所に7日間監禁 警察に4日間	漁獲物1600箱押収(両船分)	2月16日米海軍フリゲート艦に護衛され佐世保に帰る 国連軍側の執旋で釈放		m109
143	11発の弾丸を受ける	第2昌運号を利用			2月16日米海軍に護衛され佐世保に帰るも米海軍基地内に投錨まま18日釈放 博多へ		n110

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所 今後の処置 判決理由 乗組員・船・漁具・漁獲物の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
144		韓国海軍	釜山地方検察庁	初の禁固刑6ヶ月～12ヶ月・船は返す	船長・機関長李ライン・乗組員など大邱高等法院より懲役10ヶ月判決 大法院に控訴 18日大邱で釈放 司法保護委員会の保護		n11
145			全羅南道売島に連行	密輸容疑も 禁固・船体没収	昭和29年5月20日 韓国船で帰還		n12
146							
147							
148					行方不明となっていた11月25日韓国海軍艦艇902号で釜山・木浦を経て長崎へ		n13
149		韓国の艦艇	巨文島から釜山	釜山地方院 禁固2～3ヵ月+1,000圓の罰金・銃2000ポンド・船・設備没収 求刑 10月15日判決・受取書	11月12日大統領特赦令で釈放		n14
150		韓国の艦艇	巨文島から釜山	漁業法・出入国法違反 3ヵ月+1000円	送還順番抽選で韓国船原州号(大韓海運会社)で11月17日釜山から 11月12日大統領特赦令により 船体未帰還乗組員11月19日帰還		n15
151		韓国軍艦315号					
152		韓国軍艦315号		昭和28年11月10日釜山地方裁判所判決	11月21日六連沖をへて門司へ アルシヨン号で 11月17日大統領特赦令により釈放		n16
153							n17
154							n18
155				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n19
156							
157				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			
158				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n120
159				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n121
160				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n122
161							n123
162							n124
163		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n125
164		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n126
165		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n127
166		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n128
167		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n129
168		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n130
169		国防部韓国砲艦109号		李ライン外への退去命令に従わなかった			n131



整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所、その後の処置、判決理由、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
170		韓国砲艦第205号	济州島へ				n132
171		韓国砲艦第706号		裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n133
172				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n134
173				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n135
174				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n136
175				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n137
176				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n138
177				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n139
178				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n140
179				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n141
180				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n142
181				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n143
182							
183							
184				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n144
185				裁判後6ヶ月後全員釈放 船・船具没収			n145
186							
187							n146
188							n147
189	(3人乗り込み威嚇発砲)	韓国軍艦	济州島へ(1週間)木浦(約45日)	警察5回裁判所2回呼び出し。禁固3ヶ月から2ヶ月・罰金3000円から1000円、漁船没収 11月26日長崎に帰還	木浦に日本船38(37)隻係留(水産庁船も)		n148
190					船体未帰還 乗組員昭和28年11月26日帰還		n149
191							
192							
193							
194	軍艦威嚇射撃	フリゲート艦(700t) 公船(補助警備艇)107号(第83愛幸丸を改造)			昭和29年1月7日韓国船アムシオネ号で帰国		n150
195		(補助)警備706号(日本漁船又は米海軍払い下げタグボート?)			314区(济州島西方12マイル)消息を絶つ 昭和29年1月10日25名釈放。1月12日韓国船リメイツ号で帰国		n151
196					昭和29年1月10日4名釈放。韓国船リメイツ号で帰国		n152
197			江陵で抑留	懲役・船体没収	韓国大統領の特赦令により身柄釈放 18日韓国のオンジン号で釜山より20日朝大阪につく。		n153

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所、その後の処置、判決理由、船放、乗組員、船、漁具、漁獲物の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
198	猛烈な銃撃	漢撃山号(83,48t)	釜山海洋警察隊に抑留	2月6日大邱高等法院で執行猶予1年・船・船具・漁獲物(8800箱159万円)没収・大邱刑務所 2月17日韓国船オゾン号で釜山より門司に18日送還	(船員昭和29年4月20日帰還)		n154
199			釜山へ	李ライン侵犯 公務執行妨害の幇助	スパイの幇助で		
200	韓国船の銃撃「くさなぎ」も銃撃される	(ARB型)飛行機救難艇270t(ROKCG) 韓国警備船金星号(約220t)	済州島へ 船内軟禁 同夜釈放	3月23日釜山地方院で裁判、3月26日判決 釜山地方検察局李ライン侵犯及び韓国漁業保護法 懲役6ヶ月から1年、漁獲物売上金159万円・船・付属漁具没収	21日午前0時釈放。 22日午前8時30分門司に寄港		n155
201		韓国の500tの船		18日釜山水上警察署留置 4月26日釜山検察庁6ヶ月から1年有罪 釜山刑務所抑留	1名病氣入院を除く10名は大統領特赦令で釈放、18日オゾン号で釜山を出て4月20日朝大阪へ(1人5月20日帰還)		n156
202	銃撃			3月29日釜山地方裁判所で裁判、5月5日判決禁固6ヶ月から1年 釜山検察局において漁業資源保護法違反が立証されず不起訴に(昭和29年5月釈放か)5月8日27人釈放	オゾン号で5月19日六連島へ20日神戸		n157
203	銃撃		済州島へ	釜山水上警察署留置 4月26日釜山検察庁6ヶ月から1年有罪 釜山刑務所抑留	大韓海運公社所属アルシオン号で(5月16日釈放)		n158
204	銃撃	韓国沿岸警備隊		3月29日釜山地方裁判所で裁判、5月5日判決禁固6ヶ月から1年 釜山検察局において漁業資源保護法違反が立証されず不起訴に(昭和29年5月釈放か)5月8日27人釈放	大韓海運公社所属アルシオン号で(5月16日釈放)		n159
205	銃撃		釜山へ	釜山検察局において漁業資源保護法違反が立証されず不起訴に(昭和29年5月釈放か)	5月16日帰還		n160
206	銃撃		釜山へ	釜山検察局において漁業資源保護法違反が立証されず不起訴に(昭和29年5月釈放か)	5月16日帰還		n161
207		国連軍艦艇abuquaque号米国旗ゲート艦		再三防衛海域に立ちいった	6月18日釈放韓国船で送還		n162
208		国連軍艦艇		再三防衛海域に立ちいった 4月9日8ヶ月から1年(2人)の禁固求刑 釜山地方院朝日新聞昭和29年5月15日(土)6カ月から1年の懲役を申し渡す。(韓国魚族保護法を犯したとして)	6月18日釈放韓国船で送還		n163
209			釜山へ	釜山検察庁に送られる 李ラインを犯した	6月12日釈放 6月14日帰還 韓国船アルシオン号で門司へ		n164
210			釜山へ	釜山検察庁に送られる 李ラインを犯した	6月12日釈放 6月14日帰還		n165
211			釜山へ	釜山検察庁に送られる 李ラインを犯した	6月12日釈放 6月14日帰還		n166
212			釜山へ	9月21日釜山地方裁判所で判決 李ライン・水産資源保護法を優した 懲役8ヶ月から1年	1人昭和30年1月4日、10人昭和33年2月1日帰還 船体未帰還		n167

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
213			釜山へ	9月21日釜山地方裁判所で判決、李ライン・水産資源保護法を侵した懲役8ヶ月から1年	昭和32年5月21日倒れ、23日抑留者の1人釜山病院で死亡。6月3日抑留中の義弟とともに遺骨神戸港へ。7人昭和33年2月1日帰還、船体未帰還		n168
214							n169
215		韓国警備艇					n170
216		韓国艦艇 (500t~600t)	釜山収容所		大破		n171
217				釜山地方裁判所11月3日釜山地方院に送検。8ヶ月から1年の禁固、韓国水産資源保護法を犯す。船体、設備没収、船長禁固1年、通信士他4人10ヶ月、その他14人8ヶ月	昭和30年6月22日山口水産高校実習生4人帰還、釜山抑留中の5名韓国漁船(魚盛丸6t)を奪い対馬へ脱走		n172
218			臨検 釜山へ抑留	11月12日船・船員共に釈放			n173
219			臨検 釜山へ抑留	11月12日船・船員共に釈放			n174
220		韓国警備艇	釜山へ	昭和30年1月8日言渡し昭和33年4月26日釈放。船没収	釜山収容所で服役後外人収容所に移される		n175
221		韓国警備艇	釜山へ	昭和30年1月8日未成年者は6ヶ月後に釈放(4人)昭和33年4月26日釈放。船没収	釜山収容所で服役後外人収容所に移される		n176
222	銃撃			12月19日済州島西方112kmで2隻捕獲これで4隻目	昭和29年12月18日船体・乗組員帰還		n177
223							n178
224			釜山海洋警察隊本部へ	昭和30年1月8日釜山地方院言い渡し李ライン内操業により船長懲役1年乗組員6ヶ月から8ヶ月			n179
225			釜山へ				n180
226			釜山へ				n181
227			釜山へ				n182
228			釜山へ		2人昭和30年2月3日、1人昭和32年1月13日、8人昭和33年2月1日帰還、船体未帰還		n183
229			釜山へ		2人昭和30年2月3日、1人昭和30年6月3日、9人昭和33年2月1日帰還、船体未帰還		n184
230	追跡 船尾に追突して拿捕			船長禁固1年 船員8ヶ月から10ヶ月 昭和33年4月26日釈放。船没収	釜山収容所で服役後外人収容所に移される		n185
231				昭和30年1月21日釜山地方検察所起訴	昭和32年8月1日病人1人韓国船バミナ号3日神戸への予定		n186

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調査」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
232				昭和30年1月21日釜山地方検察所起訴 釜山検察庁韓国漁業法違反したと 42名起訴韓国警察8月26日発表釜 山収容所より5人脱走、架動機船 (5t)不明、2月16日捕らわれた第 10ギクシ丸(福岡)の船員たち(2 名)と密航者3名	昭和30年2月3日抑留者16人帰還 昭 和30年7月7日31人釈放発表 昭和32 年5月11日釜山発病人1人帰還 1人昭和31年10月24日、2人昭和32年 1月13日、1人昭和32年5月13日帰還		m187
233					昭和30年8月26日釜山収容所より韓国 船漁盛号で密航者3人とともに2人対 馬に脱出 2人昭和33年2月28日、6人昭和33年 4月28日帰還、船体未帰還		m188
234					昭和32年5月11日病人1人韓国船バミ チ号13日神戸への予定		m189
235					生月島沖で韓国フリゲート艦の追突よ り乗組員25人中21人死亡		m190
236							m191
237							
238	銃撃10数発	警備船(約100t)		漁業規則違反			m192
239							
240							m193
241		1000t位の船					m194
242					死亡1人		m195
243				8月9日京城海軍委員会 李ライ ン内操業7隻(102人)8月釜山検察 庁へ引き渡す			m196
244							m197
245					昭和32年5月11日釜山発、13日神戸に 大韓海運公社パナミ号で病人1人帰還		m198
246					昭和31年12月7日船員死		m199
247					昭和32年5月11日釜山発、病人1人帰還		n200
248				釜山地方裁判所判決11月4日韓国漁業 保護法違反で禁固3ヶ月から6ヶ月	昭和32年5月11日釜山発、病人4人帰還		n201
249							n202
250				釜山地方院、10月31日 李ライン辱 犯 懲役刑6ヵ月から1年言渡し			n203
251				釜山地方院、9月27日 李ライン辱犯 懲役刑6ヵ月から1年言渡し			n204
252							n205
253			韓国沿岸警備隊発表 済州島へ	李ライン辱犯(侵入)	4人昭和33年2月1日、25人昭和33年 4月26日、船体未帰還		

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所 其の後の処置 判決理由 釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
254				昭和33年4月26日釈放。船没収			r206
255					昭和32年5月11日釜山発、病人1人帰還(3人昭和30年12月7日、1人昭和32年5月13日、7人昭和33年4月26日、船体未帰還)		r207
256					昭和32年5月11日釜山発、病人1人帰還		r208
257							r209
258							r210
259	11月17日韓国連合参謀本部、李ライン優犯、砲撃沈発表						
260				釜山区裁判所12月24日判決 5ヵ月から10ヵ月の禁固刑	昭和33年2月28日金剛丸で帰国(高齡者は先に帰国)昭和32年5月11日釜山発、病人1人帰還		r211
261				釜山区裁判所12月24日判決 5ヵ月から10ヵ月の禁固刑			r212
262				釜山区裁判所、李ライン優犯昭和31年4月24日言渡し禁固4ヶ月から1年	3人昭和33年2月1日、8人昭和33年4月26日、船体未帰還		r213
263				釜山区裁判所、李ライン優犯昭和31年4月24日言渡し禁固4ヶ月から1年	1人昭和32年1月13日、1人昭和32年8月25日、8人昭和33年4月26日、船体未帰還		r214
264							r215
265							r216
266	銃撃			昭和33年4月26日釈放。船没収され忠南白馬江号(46.16t)となる。			r217
267		100t韓国警備艦		船没収され全南建洋号(109t)となる			r218
268		100t韓国警備艦		船没収され江原金剛号(71.5t)となる			r219
269					密漁の疑い		
270	銃撃						r220
271							r221
272				「朝日新聞」韓国警察本部8月28日発表 領海侵犯8月27日済州島付近で日本漁船3隻(29人)捕える			r222
273							r223
274				船没収され京畿畿星号(98.96t)となる	3人昭和33年2月1日、10人昭和33年2月28日、船体未帰還		r224
275				船没収され全北群海号(98.96t)となる	11人昭和33年4月26日、船体未帰還		r225

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
276				大統領特赦で送還(船長が以前漂流韓国船員を助けたことにより)	11月12日釈放され境港へ帰還		r226
277				大統領特赦で送還	11月12日釈放され境港へ帰還		r227
278							r228
279							r229
280							r230
281							r231
282	銃撃						r232
283	銃撃						r233
284	銃撃				乗組員17名が韓国警備員を乗せたまま12月31日釜山より脱走		r234
285					拿捕後沈没		r235
286		韓国警備艇銀河艇よりの無線を傍受、灯を消した韓国艇					r236
287		韓国警備艇銀河艇よりの無線を傍受、灯を消した韓国艇					r237
288		韓国警備艇銀河艇よりの無線を傍受、灯を消した韓国艇					r238
289		韓国警備艇銀河艇よりの無線を傍受、灯を消した韓国艇					r239
290		灯を消した韓国艇					r240
291		1本マストの韓国艦					r241
292		855号(100t位)	釜山へ				r242
293		867号が体当たりして船体・船員とも運行					
294							
295							r243
296	銃撃	1000t以上韓国軍艦艇 上陸用舟艇					r244
297	銃撃	1000t以上韓国軍艦艇 上陸用舟艇					r245
298	銃撃						r246
299							r247
300							r248
301	銃撃						r249
302							r250
							r251

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
303	銃撃				12人昭和35年3月31日、船体未帰還		r252
304	銃撃				昭和34年9月3日釜山発、4日大阪へ病人1人協成汽船北海号で帰還(9月5日)10人昭和35年3月31日帰還、船体未帰還		r253
305					11人昭和35年3月31日帰還、船体未帰還		r254
306					昭和34年9月3日釜山発、4日大阪へ病人1人協成汽船北海号で帰還		r255
307	銃撃	150t位の警備艇			船員2人海中に飛び込み脱出し巡視船「いすず」に救助される。残り8人は連行抑留		r256
308				漁業資源保護法違反の疑い	昭和35年3月31日の相互釈放で全員下関に帰還		r257
309		150t級韓国海洋警備艇(1本マスト、ねずみ色)		漁業資源保護法違反の疑い	昭和35年3月31日の相互釈放で全員下関に帰還		r258
310	銃撃						r259
311		100t型の韓国警備船			昭和33年7月20日 玄海灘で韓国警備艇義勇第49号(乗組員5名)を助けた。大統領特赦6月20日乗組員とともに下関に帰還		r260
312					9月11日韓国漁船78人を助けたことにより釈放・執行猶予		r261
313			濟州島方面へ	船員は「いすず」に乗り移る。船は曳航(漁獲物とともに)される。			r262
314				「ひらど」に全員乗り移る。			r263
315				船体は不法拿捕 1人飛び込み「ひらど」救助			r264
316				「ひらど」交渉 洋上釈放	一旦濟州島方面に曳航されたが同日午後船体および船員も釈放		r265
317			濟州島方面へ		昭和35年10月4日釜山発5日2人裡里号で下関に帰還		r266
318			濟州島方面	韓国警備艇が強硬接舷衝突 沈没(連行途中午前8時34分沈没)	6月2日釜山収容所の11人大韓海運公社裡里号で対馬蔚原へ送還を日本へ通告しかし船長及び通信士は韓国10ヶ月で服役中(10月5日裡里号で下関に帰還)		r267
319					昭和35年10月4日釜山発5日7人下関に裡里号で帰還		r268
320			濟州島山地港方面		昭和35年10月4日釜山発5日10人下関に裡里号で帰還		r269

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所、その後の処置、判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難(Robbery)その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
321					昭和35年10月4日釜山発5日6人下関に裡里号で帰還		r270
322		韓国警備艇867艇	釜山港方面へ	未成年者1人釈放7月28日関西汽船山水丸で帰還	昭和35年10月4日釜山発4日9人下関に裡里号で帰還		r271
323		韓国警備艇862艇		未成年者2人釈放7月28日関西汽船山水丸で帰還	昭和35年10月4日釜山発4日4人下関に裡里号で帰還		r272
324		韓国警備艇101号		起訴猶予 昭和36年1月9日釜山発。対馬三島灯台沖で巡視船おおよど船体および乗組員受			r273
325					昭和35年11月12日済州島で韓国船を救助したことにより船と共に昭和36年3月30日釈放自力帰還		r274
326	銃撃	105号	済州島山地港方面へ	昭和36年4月26日特別処置起訴猶予で釜山発韓国警備艇869号同行洋上引き渡し	昭和36年3月30日未成年者1人、第2進米丸に便乗し帰還(1人昭和36年3月31日、10人昭和36年4月27日帰還、船体未帰還)		r275
327	カービン銃で銃撃	865号	1時間半後に捕まる 済州島	昭和36年8月15日独立記念日特赦11人釈放(未成年者1人すでに帰還)			r276
328		867号船のみ拿捕		「くろかみ」9人救助 船は捕獲される			r277
329		863号船のみ拿捕	済州島山地港	巡視船まつらに8人全員乗り移る			r278
330			済州島方面	11月2日釜山地方法院13人中8人執行猶予12月14日釜山発15日下関へ九州郵船男島丸で帰還	昭和36年9月22日釈放 昭和37年2月5日5人釈放釜山発6日下関に九州郵船男島丸で		r279
331		867号	済州島へ	9月8日朝釈放 9月9日午前7時40分頃福江港へ帰る			r280
332	銃撃	補助警備艇105号(日本漁船改造)	済州島山地港方面	昭和36年9月25日釈放26日燃料等を横込み済州島山地港発			r281
333		101号 862号	釜山方面に曳航	昭和36年11月10日釈放 釜山出発			r282
334		101号 862号	釜山方面に曳航	昭和36年11月10日釈放 釜山出発			r283
335	銃撃			昭和36年11月10日釈放 釜山出発			r284
336				昭和36年11月10日釈放 釜山出発			r285
337				昭和36年11月10日船と共に釈放			r286
338		869号 右舷後部に激突	済州島山地港方面に曳航				r287
339		10号	済州島方面に曳航	「あまくさ」が第2に乗組員は乗船させ脱出			r288
340		106号			昭和37年11月26日5人刑期満了で11月30日釜山発男島丸で帰還		r289



整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	進行先	裁判所 その後の処置 判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
341		106号					r290
342		(106号)865号	釜山へ	7ヶ月後釈放 船は没収	昭和36年11月3日にも拿捕されている 昭和37年11月30日10人釜山莚男島丸で帰還		r291
343		865号		巡視船「きくち」に全員移乗 船は奪取			r292
344		865号	済州島山地港へ曳航				r293
345				巡視船「くさかき」に全員移乗			r294
346		865号					r295
347		863号		10月末日釈放			r296
348		106号					r297
349				5人飛び込み他の7人は連行される	1人昭和37年10月19日、6人昭和37年12月15日帰還、昭和37年12月15日船体帰還		r298
350		863号		昭和38年5月16日革命2周年で2人釈放(5人はすでに釈放)			r299
351		863号					r300
352		863号					r301
353							r302
354		865号		5月16日7人革命2周年により、5月28日までに全員帰還 船未帰還			r303
355		865号		4人は海より救助	1人昭和38年3月9日、6人昭和38年5月8日帰還、昭和37年12月15日船体未帰還		r304
356				韓国船を救助したことがあり24日(23日)後船とともに釈放され帰国			r305
357			釜山へ				r306
358		886号					r307
359		886号					r308
360		881号 衝突される					r309
361				韓国水上警察午後4時30分より立ち会い釜山港外の高頭末南東約10kmの領海外確認覚書を交わし5時5分釈放 レーダー故障 臨検1時間半後に釈放			
362		107号	釜山方面				r310
363		867号		「よしの」初めて洋上交渉6時間後釈放 済州島東方44km 李ライン内 7月29日午後8時済州島を出て N33°E127'40"の水域で釈放する			r311
364							r312
365		韓国警備艇865号					r313

整理番号	銃撃・死傷者	捕獲した船	連行先	裁判所 その後の処置 判決理由、釈放、乗組員、船、漁具、漁獲魚の売上代金	帰還、盗難 (Robbery) その他	「拿捕違反漁船調」記載船	「日韓漁業対策運動史」記載船
366	銃撃約10発、海中に飛び込み救助された3人に対しても銃撃			3人海に飛び込み救助			r314
367		107号		昭和38年11月6日船と共に帰国49日(50日)後	昭和28年1月10日韓国船竜田丸救助		r315
368		107号		10月4日8人釈放			r316
369				船員全員海に飛び込み救助される。船長は昏睡状態、船は曳航される。27日午後5時30分釈放			r317
370		862号					r318
371	銃撃				(2人昭和39年2月6日、10人昭和39年3月16日帰還、昭和39年3月10日船体帰還)		r319
372		警備艇865号			巡視船まつららに全員移乗・新洋丸に警備艇員4人乗り降り、海上保安官5人に銃器を突き付け退去させる		r320
373				韓国水上警察、高速機動艇(ハンサン号NF605号(20t))に連行される。9時間後の10時40分過ぎ釈放			r321
374				乗組員11人は「よしの」に乗り移ったが船は引っぱっていかれた。			r322
375		正規警備艇868号(旧日本海軍特殊敷設艦180級)			14人昭和39年6月23日船体共に洋上釈放		r323
376		868号?					r324
377			釜山へ	9月6日釈放。午後1時45分敵原へこれにより抑留者0となる。			r325
378		107号	於青島方面へ	李ライン侵犯			r326
379							r327
380		867号		警備艇と接触損傷。沈没3名は警備艇4名中1名は日本の巡視船「あわじ」が救助し7名の日本人と交換釈放			r328
381		861号		脱出			
382		861号		5月23日午前11時30分釈放			
383	射撃	106号	濟州島	日韓漁業協定発効後初めての拿捕	午後1時過ぎ強硬接敵立ち入り検査、昭和41年3月31日船員及び船体釈放の通報を受ける		

## ＜参考・引用文献＞

### 1. 新聞・雑誌類

- ・『山陰新聞』、『山陰新報』（昭和27年4月～昭和32年9月）、『島根新聞』（昭和21年4月～）、『石見タイムズ』（昭和22年1月～）、『中国新聞』（昭和32年1月～）、『毎日新聞』（昭和36年3月～）、『朝日新聞』（昭和25年2月～）、『読売新聞』、『防長新聞』（昭和27年1月～昭和29年12月）、『西日本新聞』（昭和28年2月6日～4月14日：半田隆夫氏提供。昭和20年・21年版には該当記事なし。昭和22年・27年追加調査）、『山陰日日新聞』（昭和22年～31年）、『日本海新聞』（昭和22年～31年）、『アサヒグラフ』、金剛丸松田直蔵「底曳漁業編（五）底曳漁業とその変遷（その二）『浜田市漁協だより（語り継ごう郷土の漁業を!!①）』昭和60年9月15日。

### 2. 書籍類

- ・日本遠洋底曳網漁業協会「韓国拿捕帰還船一覧表」〔(其の一) (1) 韓国独自にて拿捕せるもの (1950年以前の拿捕又は抑留) 昭和26年6月15日、(其の二) (2) 國連関係にて拿捕せるもの (1951年以後に拿捕又は抑留せるもの) 昭和26年6月15日〕。
- ・福岡基地開設二十周年記念会『遠洋底曳網漁業福岡基地開設二十周年誌』日本遠洋底曳網漁業協会福岡支部、1954年。
- ・韓国抑留船員協議会『韓国抑留生活実態報告書』（日韓漁業対策本部資料：自昭和29年7月、至昭和33年5月）1958年。
- ・日本遠洋底曳網漁業協会『創立十周年記念誌』1958年。
- ・海上保安庁総務部政務課編『十年史』平和の海協会、1961年。
- ・山口和雄監修『日本水産50年史』日本水産株式会社、1961年。
- ・日韓漁業協議会『日韓漁業対策運動史』1968年。
- ・日本遠洋底曳網漁業協会編『二十年史』日本遠洋底曳網漁業協会、1968年。
- ・福岡基地開設三十周年記念誌刊行会『遠洋底曳網漁業福岡基地開設三十周年誌』日本遠洋底曳網漁業協会福岡支部、1968年。
- ・福岡市役所『福岡市史 第六卷 昭和編後期 (二)』福岡市役所、1971年。
- ・松本卓三『香住町漁業協同組合史 上巻』香住町漁業協同組合、1978年。
- ・海上保安庁総務部政務課編『海上保安庁三十年史』海上保安協会、1979年。
- ・海上保安庁の思い出編集委員会編『海上保安庁の思い出：創立30周年を迎えて』海上保安協会、1979年。
- ・下関市市史編修委員会『下関市史・終戦－現在』下関市、1989年。
- ・萩市史編纂委員会『萩市史第2巻』萩市、1989年。
- ・徳山宣也編『大洋漁業 長崎支社の歴史』1995年。

- ・第七管区海上保安部編『第七管区海上保安本部五十年史』（財）海上保安協会門司地方本部、1999年。
- ・山口県編刊『山口県史 史料編現代2 県民の証言 聞き取り編』山口県、2000年。
- ・『韓・日会談請求権関連文書94』大韓文化印刷、2006年。
- ・国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書5、11、16、21、23、25、27、30、31、33、37、38、55、62、77、96』ソンイン、2010年。

### 3. 官公庁資料類

- ・外務省「韓国側に拿捕せられまたは朝鮮人に盗まれた漁船について」1951年12月13日。
- ・外務省情報文化局『外務省公表集』1960年。
- ・外務省情報文化局第1課「外務省発表集」昭和31年～昭和41年。
- ・韓国農林部『拿捕漁船管理』檀紀4294年（1961年）。
- ・国立国会図書館所蔵『GHQ/SCAP Records (RG331)』No.775023「拿捕違反漁船調」（information of japanese fishing vessel seized or guilty of violation）NO.15「自認書」（写真本拾八帳）20、45、48、55～57、81～86、88、89、90～116、128～143、195、196、208、209。
- ・参議院会議録「第015回国会水産・法務・外務連合委員会」1953年2月23日。
- ・衆議院会議情報「第016国会水産委員会」第26号。
- ・水産庁「韓国に拿捕 抑留漁船の一覧」1951年12月7日。
- ・水産庁「韓国人による盗難漁船一覧表」1951年10月30日[[韓国拿捕其他 帰還船一覧表]、(其一) 韓国独自の拿捕其他 (1949年以前のもの)、(其二) 国連関係による拿捕其他 (1951年以降のもの)]。

【付表】

## 拿捕統計表

&lt;付表1&gt;

年	被拿捕		帰還		未帰還	
	隻数	乗組員数	隻数	乗組員数	隻数	乗組員数
1947(昭22)	7	81	6	81	1	0
1948(昭23)	15	202	10	202	5	0
1949(昭24)	14	154	14	151	0	0
1950(昭25)	13	165	13	165	0	0
1951(昭26)	45	518	42	518	3	0
1952(昭27)	10	132	5	131	5	0
1953(昭28)	47	585	2	584	45	0
1954(昭29)	34	454	6	453	28	0
1955(昭30)	30	498	1	496	29	0
1956(昭31)	19	235	3	235	15	0
1957(昭32)	12	121	2	121	10	0
1958(昭33)	9	93	0	93	9	0
1959(昭34)	10	100	2	100	8	0
1960(昭35)	6	52	0	52	5	0
1961(昭36)	15	152	11	152	4	0
1962(昭37)	15	116	4	116	11	0
1963(昭38)	16	147	13	147	3	0
1964(昭39)	9	99	7	99	1	0
合計	326	3,904	141	3,896	182	0

原注：1965年は不明、なお未帰還数のなかには沈没船、死亡者などをふくんでいない。

出所：小田滋「日韓漁業協定の成立」『ジュリスト』No.327、1965年8月1日、17ページ。

&lt;付表2&gt;

年	漁船拿捕	公船拿捕	年	漁船拿捕	公船拿捕
1947(昭22)	9	0	1957(昭32)	12	0
1948(昭23)	15	0	1958(昭33)	9	0
1949(昭24)	14	0	1959(昭34)	10	0
1950(昭25)	13	0	1960(昭35)	6	0
1951(昭26)	46	0	1961(昭36)	15	0
1952(昭27)	10	0	1962(昭37)	15	0
1953(昭28)	45	1	1963(昭38)	16	0
1954(昭29)	34	1	1964(昭39)	8	1
1955(昭30)	30	0	1965(昭40)	0	0
1956(昭31)	19	0			
			合計	326	3

出所：「日韓漁業対策関係年表」『日韓漁業対策運動史』日韓漁業協議会、1968年、439-464ページより作成。

<付表3>

年別	区分		現在までに 帰還したもの		沈没又は死亡		未帰還	
	隻数	乗組員数	隻数	乗組員数	隻数	乗組員数	隻数	乗組員数
1947(昭22)	7	81	6	79			1	
1948(昭23)	15	202	10	199			5	
1949(昭24)	14	154	14	152		3		
1950(昭25)	13	165	13	165				
1951(昭26)	45	497	42	517			3	
1952(昭27)	10	132	5	134		1	5	
1953(昭28)	47	585	2	581		1	45	
1954(昭29)	35	454	6	461		1	29	
1955(昭30)	30	499	1	516	1	3	29	
1956(昭31)	20	235	3	234	1		17	
1957(昭32)	12	98	2	112			10	
1958(昭33)	9	93		93			9	
1959(昭34)	10	91	2	87			8	
1960(昭35)	6	52		52	1		6	
1961(昭36)	15	152	11	151			4	
1962(昭37)	15	116	4	116			11	
1963(昭38)	16	140	13	156			3	
1964(昭39)	9	97	7	98	1		1	
合計	328	3,929	141	3,835	4	36	187	

原注：細部不明で合計数に達しない部分があるが、これは未届その他による（昭和40年10月20日現在）。

注：未帰還の乗組員数は記載なし。

出所：「韓国、中国、国府拿捕漁船及び抑留乗組員調 1. 韓国拿捕」『漁業で結ぶ日本と韓国』みたと新聞社、1965年、107ページ。

&lt;付表4&gt;

年	平和条約発効までの拿捕漁船*						
	隻数	帰還	未帰還	沈没	乗組員数	帰還	死亡
1947(昭22)	7	6	1		81	81	0
1948(昭23)	15	10	5		202	202	0
1949(昭24)	14	14	0		154	151	3
1950(昭25)	13	13	0		165	165	0
1951(昭26)	43	42	1		497	497	0
1952(昭27)	3	3	0		37	36	1
年	平和条約発効後の拿捕漁船						
	隻数	帰還	未帰還	沈没	乗組員数	帰還	死亡
1952(昭27)	10	5	5		132	131	1
1953(昭28)	47	2	45		585	584	1
1954(昭29)	34	6	28		454	453	1
1955(昭30)	30	1	29		498	496	2
1956(昭31)	19	3	15	1	235	235	-
1957(昭32)	12	2	10		121	121	-
1958(昭33)	9	-	9		93	93	-
1959(昭34)	10	2	8		100	100	-
1960(昭35)	6	-	5	1	52	52	-
1961(昭36)	15	11	4		152	152	-
1962(昭37)	15	4	11		116	116	-
1963(昭38)	16	13	3		147	147	-
1964(昭39)	9	7	1	1	99	99	-
1965(昭40)	1	1	-		7	7	5
合計	233	57	173	3	2,791	2,786	

原注：1952年の数のうち1月～4月28日（平和条約発効日）に3隻（乗組員数37）が拿捕され帰還。うち乗組員1死亡。

注（\*）：1952（昭27）の数値は、同年1月～4月28日まで。

出所：吉澤清次郎監修『日本外交史 第28巻 講和後の外交 I 対列国関係（上）』鹿島研究所出版会、1973年、27、56ページ。

&lt;付表5&gt;

年	拿捕		帰還		未帰還		備考
	船	人	船	人	船	人	
1947(昭22)	7	81	6	81	1		
1948(昭23)	15	202	10	202	5		
1949(昭24)	14	154	14	151			死亡3
1950(昭25)	13	165	13	165			
1951(昭26)	43	497	42	497	1		
1952(昭27)	10	132	5	131	5		死亡1
1953(昭28)	47	585	2	584	45		射殺1
1954(昭29)	34	454	6	453	28		死亡1
1955(昭30)	30	499	1	496	29	1	死亡2
1956(昭31)	19	235	3	232	15	3	沈没1
1957(昭32)	10	98		73	10	25	
1958(昭33)	9	93			9	93	
1959(昭34)	3	31			3	31	
合計	254	3,226	102	3,065	151	153	沈没1、死亡8

注：原注の「備考」は省略。  
また、1959（昭34）年の数値は、同年3月10日現在。

原出所：「韓国による日本漁船だ捕状況」外務省情報文化局報道課『北鮮自由帰還問題について世界の動き 特集号10』1959年3月20日、20-21ページ。

出所：「6 外務省情報文化局『北鮮自由帰還問題について』「世界の動き 特集号10」」金英達、高柳俊男編『北朝鮮帰国事業関係資料集』新幹社、1995年、125-126ページ。

<付表6>

年	拿捕された隻数	拿捕された乗組員数	拿捕された屯数
1947(昭22)	9	81	402
1948(昭23)	15	202	1,345
1949(昭24)	14	154	702
1950(昭25)	13	165	1,472
1951(昭26)	45	518	3,215
1952(昭27)	10	132	586
1953(昭28)	47	585	2,609
1954(昭29)	34	454	2,434
1955(昭30)	30	498	1,617
1956(昭31)	19	235	1,407
1957(昭32)	12	121	522
1958(昭33)	9	93	594
1959(昭34)	10	100	462
1960(昭35)	6	52	239
1961(昭36)	15	152	798
1962(昭37)	15	116	1,084
1963(昭38)	16	147	777
合計	317	3,805	20,272

原注：屯数は単位以下切棄て、日韓漁業協議会調。

注：原表中の備考は省略した。

出所：「李ライン問題の経済的分析」『調査四季報』（高碇達之助理事追悼号）No.18、日本産業構造研究所、1974年3月31日、13ページ。

<付表7>

年	拿捕	臨検	略奪	連行(途中にて釈放)	追跡	退去命令
1952(昭27)	11	15	-	5	74	1
1953(昭28)	34	69	9	1	31	19
合計	45	84	9	6	105	20

出所：「漁船被害一覧表（李宣言一昭和二七・一・一九一以降）」『李ライン問題と日本の立場』日韓漁業対策本部、1953年、41ページ。



&lt;付表 8 &gt;

年	被拿捕数		帰還数		事故数		未帰還数	
	隻数	人員	A 隻数 (B 隻数)	A 人員 (B 人員)	隻数	人員	隻数	人員
1947(昭22)	7	81	6 (6)	81 (81)			1	
1948(昭23)	15	202	10 (2)	202 (53)			5	
1949(昭24)	14	154	14 (14)	151 (220)		3		
1950(昭25)	13	165	13 (21)	165 (245)				
1951(昭26)	43	497	42 (42)	497 (497)			1	
1952(昭27)	3+7	37+95	3+2 (3)	36+95 (36+63)		1	5	
1953(昭28)	47	585	2 (4)	584 (549)		1	45	
1954(昭29)	34	454	6 (6)	453 (289)		1	28	
1955(昭30)	30	498	1 (1)	496 (39)		2	29	
1956(昭31)	19	235	3 (2)	235 (23)	1		15	
1957(昭32)	12	121	2 (3)	121 (70)			10	
1958(昭33)	9	93		93 (922)			9	
1959(昭34)	10	100	2 (2)	100 (21)			8	
1960(昭35)	6	52		52 (253)	1		5	
合計	269	3,369	106 (106)	3,361 (3,361)	2	8	161	0

注：Aは1960(昭35)年末までに帰還した数、Bは拿捕年中に帰還した数を示す。事故は拿捕後に沈没し、あるいは死亡したものの数を示す。未帰還数はその年に拿捕されたもののうち1960(昭35)年末までに帰還していない数を示す。1952(昭27年)の数値は、講和条約発効前+後の数を示す。また、原注と原表の備考は省略。

出所：「第6表 日本船舶だ捕状況 6-2 (相手国) 韓国」海上保安庁総務部総務課『十年史』平和の海協会、1961年、38ページ。

<付表9>

年	隻数	人数	年	隻数	人数
1948(昭23)	15	202	1958(昭33)	9	93
1949(昭24)	14	154	1959(昭34)	10	100
1950(昭25)	13	165	1960(昭35)	6	52
1951(昭26)	45	518	1961(昭36)	15	152
1952(昭27)	10	132	1962(昭37)	15	116
1953(昭28)	47	585	1963(昭38)	16	147
1954(昭29)	34	454	1964(昭39)	9	99
1955(昭30)	30	498	1965(昭40)	1	7
1956(昭31)	19	235	1966(昭41)	2	6
1957(昭32)	12	121			
			合計	322	3,836

出所：「6 日本船舶被だ捕状況の推移」海上保安庁総務部政務課編『海上保安庁30年史』海上保安協会、1979年、434-435 ページ。「7 日本船舶被だ捕状況の推移」海上保安庁編『海上保安庁50年史』海上保安協会、1999年、416-418 ページ。

<付表10>

日本漁船拿捕数			
檀紀年度	隻数	檀紀年度	隻数
4280	9	4287	35
4281	19	4288	29
4282	9	4289	18
4283	9	4290	10
4284(12/7~12/11 : 3隻、2/5~3/7 : 12隻)	37(4/15現在32隻抑留中)	4291	9
4285		4292	9
4286		4293	6
		合計	199

出所：「一、マッカーサーラインに関する資料」『韓国の漁業保護政策：平和線宣布、1949-52』（登録番号：458、分類番号：743.4 1949-52、フィルム番号：C1-0003、フレーム番号：1308）『韓・日会談請求権関連文書94』大韓文化印刷、2006年、205 ページ。「一、年度別日本漁船拿捕数」『第5次韓日会談予備会談（1960.10.25-61.5.15）漁業及び平和線委員会会議録及び非公式会談報告、1960-61』（登録番号：715、分類番号：723.1JA ㄱ1960-61、ファイル番号：10、フレーム番号：204）『韓・日会談請求権関連文書16』大韓文化印刷、2006年、413 ページ。

&lt;付表11&gt;

年	拿捕隻	拿捕人	帰還 A 隻	帰還 A 人	帰還 B 隻	帰還 B 人	事故(沈没、 死亡等)隻	事故人	未帰還 隻	未帰還 人
1947(昭22)	7	81	6	81	6	81			1	
1948(昭23)	15	202	10	202	2	53			5	
1949(昭24)	14	154	14	151	14	220		3		
1950(昭25)	13	165	13	165	21	245				
1951(昭26)	45	518	42	518	42	518			3	
1952(昭27)	3+7	37+95	3+2	36+95	3+0	36+63		1+0	0+5	
1953(昭28)	47	585	2	584	4	549		1	45	
1954(昭29)	34	454	6	453	6	289		1	28	
1955(昭30)	30	498	1	496	1	39		2	29	
1956(昭31)	19	235	3	235	2	23	1		15	
1957(昭32)	12	121	2	121	3	70			10	
1958(昭33)	9	93		93		922			9	
1959(昭34)	10	100	2	100	2	21			8	
1960(昭35)	6	52		52		253	1		5	
1961(昭36)	15	152	11	152	10	141			4	
1962(昭37)	15	116	4	116	5	100			11	
1963(昭38)	16	147	13	147	12	174			3	
1964(昭39)	9	99	7	99	7	99	1		1	
1965(昭40)	1	7	1	7	1	7				
合計	327	3,911	142	3,903	142	3,903	3	8(沈没)	182	0

注：Aは昭和40年12月31日までに帰還したもの、Bは拿捕年中に帰還したものの総数を示す。また、原注と原表の備考は省略。

出所：「第71表 韓国による日本漁船のだ捕状況の推移（40年12月31日現在）」海上保安庁編『海上保安白書（昭和41年版）』大蔵省印刷局、1966年、134 ページ。

&lt;付表12&gt;

年	拿捕隻数	拿捕員数	帰還隻数	帰還員数	沈没隻数	死亡員数	未帰還隻数	未帰還員数
1947(昭22)	7	81	6	81	0	0	1	0
1948(昭23)	15	202	10	202	0	0	5	0
1949(昭24)	8	95	8	93	0	2	0	0
1950(昭25)	9	126	9	126	0	0	0	0
1951(昭26)	35	433	35	433	0	0	0	0
1952(昭27)	7	79	5	78	0	1	2	0
1953(昭28)	17	229	2	228	0	1	15	0
1954(昭29)	22	271	6	176	0	1	16	94
1955(昭30)	14	158	1	23	0	0	13	135
1956(昭31)	10	141	1	17	0	0	9	124
1957(昭32)	5	61	2	23	0	0	3	38
合計	149	1,876	85	1,480	0	5	64	391

原注：昭和三十年の未帰還員数には行方不明一人を含む。

出所：「以西関係韓国拿捕状況年別一覧表（昭和三三年一月一日現在）」『日本遠洋底曳網漁業協会 創立十周年記念誌』日本遠洋底曳網漁業協会、1958年、151 ページ。

<付表13>

年度	隻数	屯数
1947(昭22)	1	5,541
1948(昭23)	5	31,305
1949(昭24)	-	-
1950(昭25)	-	-
1951(昭26)	1	3,995
1952(昭27)	5	23,867
1953(昭28)	45	249,370
1954(昭29)	28	189,094
1955(昭30)	29	157,269
1956(昭31)	16	127,204
1957(昭32)	10	34,858
1958(昭33)	9	59,351
1959(昭34)	8	33,404
合計	157	915,258

原注：内、李ライン設定前、7隻、40,841屯、李ライン設定後、150隻、824,417屯。

出所：「別紙 韓国艦船によりだ捕された日本漁船中未帰還船総屯数（外務省北東アジア課調）」『日韓会談における船舶』1960年4月8日（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書40』ソンイン、2010年、113ページ）。

<付表14>

年	拿捕船 総数	拿捕人員	釈放漁船	釈放人員	沈没漁船	死亡人員	未帰還 船数	未帰還 人員
1952 (1.18以後)	10	132	5	131		1	5	
1953	47	585	2	584		1	45	
1954	34	454	6	453		1	28	
1955	30	498	1	496		2	29	
1956	19	235	3	235			16	
1957	10	98		98			10	
1958	9	93		93			9	
1959	9	91	1	91			8	
1960	6	52		52	1		5	
1961	15	169	11	169			4	
1962	15	116	4	116			11	
1963 (11.4現在)	16	147	13	147			3	
合計	220	2,670	46	2,665	1	5	173	0

注：「付表 李ライン海域における漁船捕獲状況（1962.10.20現在）」真崎光晴『日韓交渉—その経緯と問題点—』（国際問題シリーズ 第27号）日本国際問題研究所、1962年、49ページには、1962年10月20日現在、拿捕船9、拿捕人員69、釈放人員7、未帰還船数9、未帰還人員数62とあり（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書57』ソンイン、2010年、562ページ）、「『李ライン』設定後韓国側に拿捕された漁船および乗組員数（昭和37年7月1日現在）」外務省アジア局北東アジア課『日韓会談重要資料集（続）』1962年7月1日、87ページには、1962年7月1日現在、拿捕船6、拿捕人員34、未帰還船数6、未帰還人員数34とある（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書54』ソンイン、2010年、444ページ）。その他の年は上表と同じ。

出所：「『李ライン』設定後韓国側に拿捕された漁船および乗組員数（昭和38年11月4日現在）」外務省アジア局北東アジア課『日韓会談重要資料集（3）』1963年10月1日、51ページ（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書64』ソンイン、2010年、213ページ）。

&lt;付表15&gt;

区 年別	区分	拿捕隻	拿捕人	帰還隻 A	帰還人 A	帰還隻 B	帰還人 B	事故(沈没・ 死亡)等隻	事故(沈没・ 死亡)等人	未帰還 隻	未帰還 人
1946(昭21)											
1947(昭22)		7	81	6	81	6	81			1	
1948(昭23)		15	202	10	202	2	53			5	
1949(昭24)		14	154	14	151	14	220		3		
1950(昭25)		13	165	13	165	21	245				
1951(昭26)		45	518	42	518	42	518			3	
1952(昭27)		3	37	3	36	3	36		1		
1952(昭27)		7	95	2	95		63			5	
1953(昭28)		47	585	2	584	4	549		1	45	
1954(昭29)		34	454	6	453	6	289		1	28	
1955(昭30)		30	498	1	496	1	39		2	29	
1956(昭31)		19	235	3	235	2	23	1		15	
1957(昭32)		12	121	2	121	3	70			10	
1958(昭33)		9	93		93		922			9	
1959(昭34)		10	100	2	100	2	21			8	
1960(昭35)		6	52		52		253	1		5	
1961(昭36)		15	152	11	152	10	141			4	
1962(昭37)		13	116	4	116	5	100			11	
1963(昭38)		16	147	13	147	13	174			3	
1964(昭39)		9	99	7	99	7	99	1		1	
合計		326	3,904	141	3,896	141	3,896	3	8	182	

注：帰還隻・人Aは、その年に拿捕されたもののうち1964年12月31日までに帰還したものの総数、帰還隻・人Bは、拿捕された年次にかかわらずその年中に帰還したものの総数、事故等隻・人は、拿捕されたのち沈没し、あるいは死亡したもの等の数、未帰還隻・人は、その年に拿捕されたもののうち1964年12月31日現在までに帰還していないものの数を示す。また、韓国独立前（1948年8月）に拿捕された漁船は20隻（未帰還4隻。1948年では、韓国独立前13隻、独立後2隻）、平和条約発効前（1952年4月）に拿捕された漁船は97隻（未帰還9隻）、1964年末帰還は新洋丸（約19屯、5月6日拿捕）である。なお、原注と原表の備考は省略。

出所：「歴年別だ捕事件統計表 相手国 韓国（海上保安庁、昭和39年12月31日現在）」参議院農林水産委員会調査室『日韓漁業交渉関係資料—そのあゆみと新聞論調—』1965年9月、149-150ページ（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書88』ソニン、2010年、162-163ページ）。「韓国による日本漁船のだ捕隻数および人数（海上保安庁調、40.1.11現在）」大蔵省理財局『日韓会談における請求権問題の未解決点について』1965年1月12日（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書71』ソニン、2010年、557ページ）。なお、類似の統計に「歴年別だ捕事件統計表 相手国 韓国（昭和39年3月13日現在）」『拿捕漁船及び朝鮮置籍船に関する資料』7ページ（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書103』ソニン、2010年、701ページ）もある。

<付表16>

年度別	船体だ捕	船体帰還	船体未帰還	人員だ捕	人員帰還	人員未帰還	備考
1947(昭22)	7	6	1	81	81	0	
1948(昭23)	15	2	14	202	53	149	
1949(昭24)	14	14	14	154	223(3)	80	
1950(昭25)	13	21	6	165	245	0	
1951(昭26)	45	42	9	518	518	0	講和条約発効前
1952(昭27)	10	3	16	132	100(1)	32	講和条約発効後
1953(昭28)	47	4	59	585	550(1)	67	
1954(昭29)	34	6	87	454	289	232	
1955(昭30)	30	1	116	498	40(1)	690	
1956(昭31)	19	2	133(1)	235	24(1)	901	
1957(昭32)	12	3	142(1)	121	71(1)	951	
1958(昭33)	9	0	151(1)	93	922	122	
1959(昭34)	10	2	159(1)	100	21	201	
1960(昭35)	6	0	165(2)	52	253	0	
1961(昭36)	15	10	170(2)	152	141	11	
1962(昭37)	15	5	180(2)	116	100	27	
1963(昭38)	16	13	183(2)	147	174	0	
1964(昭39)	9	7	185(3)	99	99	0	
1965(昭40)	1	1	185(3)	7	7	0	
合計	326	142	185(3)	3,911	3,911(8)	0	

原注（備考）：カッコ内の数字は、船体については沈没数を、人員については死亡者数をあらわす。

出所：「二十四、韓国によりだ捕された日本漁船の統計（第七管区海上保安本部調べ）」参議院外務委員会調査室『日韓基本条約及び諸協定等に関する参考資料』1965年10月、192-193ページ（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書88』ソニン、2010年、586-587ページ）。

&lt;付表17&gt;

年度	船体				乗組員		
	拿捕隻数	帰還	未帰還	沈没	抑留乗組員数	帰還	死亡
1947(昭22)	7	6	1	0	81	81	0
1948(昭23)	15	10	5	0	202	202	0
1949(昭24)	14	14	0	0	154	151	3
1950(昭25)	13	13	0	0	165	165	0
1951(昭26)	45	42	3	0	518	518	0
1952(昭27)	10	5	5	0	132	131	1
1953(昭28)	47	2	45	0	585	584	1
1954(昭29)	34	6	28	0	454	453	1
1955(昭30)	30	1	29	0	498	496	2
1956(昭31)	19	3	15	1	235	235	0
1957(昭32)	12	2	10	0	121	121	0
1958(昭33)	9	0	9	0	93	93	0
1959(昭34)	10	2	8	0	100	100	0
1960(昭35)	6	0	5	1	52	52	0
1961(昭36)	15	11	4	0	152	152	0
1962(昭37)	15	4	11	0	116	116	0
1963(昭38)	16	13	3	0	147	147	0
1964(昭39)	9	7	1	1	99	99	0
1965(昭40)	1	1	0	0	7	7	0
総計	326	142	182	3	3,911	3,903	8

注：李ライン設定まで（22年～26年）船体一拿捕隻数94、帰還85、未帰還9、沈没0、乗組員一抑留乗組員数1,120、帰還1,117、死亡3。李ライン設定後（27年～40年）船体一拿捕隻数233、帰還57、未帰還173、沈没3、乗組員一抑留乗組員数2,791、帰還2,786、死亡5。

出所：「付属資料2. 韓国警備艇による本邦漁船拿捕状況（昭和22年～40年）」北東アジア課「第7次日韓全面会談における漁業交渉（未定稿）」1968年10月15日、2-3ページ（国民大学校日本学研究所・東北亜歴史財団『韓日會談 日本外交文書92』ソニン、2010年、229-230ページ）。

(MORISU Kazuo)

